雜見記 上

特別
14
696
107

696
107

二千五百三十九年
明治八年一月

一日 晴 癸丑 旧十二月 二日 三

説教有

仏乃ち

人あり

○元禄ノ頃

昔し大岡ノ生国ハ久しり大根ノ名所ト
なり近比ハ大蕪モ大分モ出タリしカ
此節他所ヲ大賊トカ大盲トカ云者
来リ下ヨリ金ヲ西上ヲ大里ニナラヒト
しテ都ヲ大獄トナリシト分ラヌ風説
聞ニ紛レナシ

見

○元長元年

○元禄元年

○右ノ井理

○元禄元年

○春の道

○元服歌

工兵第二号

○一月廿日 節新年宴

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○一月八日 元長卿邸 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○一月廿五日 大蔵卿 [illegible]

春興道

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

○新[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○東京日々新聞 八百六十四号 三月十日

世に抜群に魁せらるゝ事あり是れ全く神経の習染しかる所忘想より生ずるなり既に識者も明解あり故に嚴に之を苛責すること若くは歌詠の感化によりて改復することあり伊藤仁齋神山奇讓助の故事見るべきなり茲に小倉縣下第二大區中津原村農某の女子なる者あり急に人理を失ひ狂亂度なく空語喃々近隣を横行し父老も制遏り

苦き兒童ハ狂悖ト悖れ之を呼で孤憑ニ
更ニ之ニ依り付く方なし遂ニ石長より書を出し
て其處分の方を請フ時ニ高松藩雲州羽の長さ
り則ち國歌二首を献ず下吏を遣し問き
女がおこを立て高声ニ之を讀簡セ且ツ之を嚴
責セしのしニ其日より心神故ニ返り居事
常の如しと云ふ是れ和歌の德と云ふもあら
ざるべからず亦一奇と云ふべし其詠ニ
大君の御邦ニてきて大君のゆくこの民をなとそなほ
なほたハ、存をす〳〵君の代を知るやあらや醜の野孤

○日新眞享誌抜

小野ハ散り三谷ハ枯ル其中ニ何
サ一ニ高社タモタザル
銀行悅ヘ三井ハ御役ニ立ツタ
ハアイ

文那ハ、ケ朝鮮ナビリ世ノ中ニ何トテ
暇素ハ開ケサル
人民悅ヘ御使者ハ御役ニ立ツ
賊ハヘリ火事ハ
メハヤイ
ハキリ上ニ何サ一

喧嘩ヲコヲザルヲ
所ニ悔ク心ヲ
○玉仙寺一歳回
舟ニまとよ物も明くなり文明の
春の立門哉
○夢知郎鳴海村迎郷ニ
玉村アリ昔村人
合物軒下ニ
備ヘ
有志君ノ法
厳施行ス
り美ヲ
○國旗祭日
元始祭

[illegible]

二月十九

[illegible]

○日新眞妄誌 主旨ヲ明ス

一寸難有迷惑ノ御披露

民撰議院ノ議論 政府ノ難有迷惑

金星經過ノ測量 大藏ノ難有迷惑

不可奈何ノ投書 新竹社ノ難有迷惑

教課書ノ報償 書肆ノ難有迷惑

說教目的ノ三則 教僧ノ難有迷惑

煙仕石巡ノ家屋 人民ノ難有迷惑

神仏合交ノ説教 神官ノ離百逆惑
黴毒施療ノ積金 娼妓ノ離百逆惑
道路密布ノ砂利 行客ノ難ク義惑
和ノ開ケ ノ布告 里長ノ離百逆惑

○同十三年十五日

官民因循之六件

民選議院ノ少ク極ラヌハ 政府ノ因循

地祖改正ノ六ク極ラヌハ 金穀ノ因循
樺太境界ノ六ク極ラヌハ 開拓使ノ因循
青森鉄道ノ六ク極ラヌハ 教院ノ因循
皇城建築ノ六ク極ラヌハ 人民ノ因循

○同十三年十六日

雪丸[illegible]ち[illegible]も[illegible]し[illegible] さて
[illegible]の[illegible]や 大[illegible]の[illegible]
通り[illegible]御[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]長[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
松[illegible]の[illegible]
十[illegible]

但シ大坂[illegible]海[illegible]山[illegible]
毎月[illegible]十二月十四日[illegible]夜[illegible]左[illegible]金[illegible]
[illegible]上[illegible]南[illegible]文[illegible]
但[illegible]各[illegible]口[illegible]十[illegible]文[illegible]
[illegible]
壱圓札五両 佐[illegible]一郎
紙[illegible]二枚 [illegible]平十郎
内 壱枚
右十六月十四日夜中ニ[illegible]十五日朝 [illegible]
紙[illegible] 伊[illegible]
右[illegible]十五日朝[illegible]
〆 [illegible]

○

[illegible]身を[illegible]もし

またも[illegible]見ゆるハこほりし[illegible]の水　江戸 虚心

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]十七日十八日[illegible]

[illegible]十八日[illegible]

[illegible]

○

十月廿五日[illegible]

[illegible]

○

[illegible]元の[illegible]

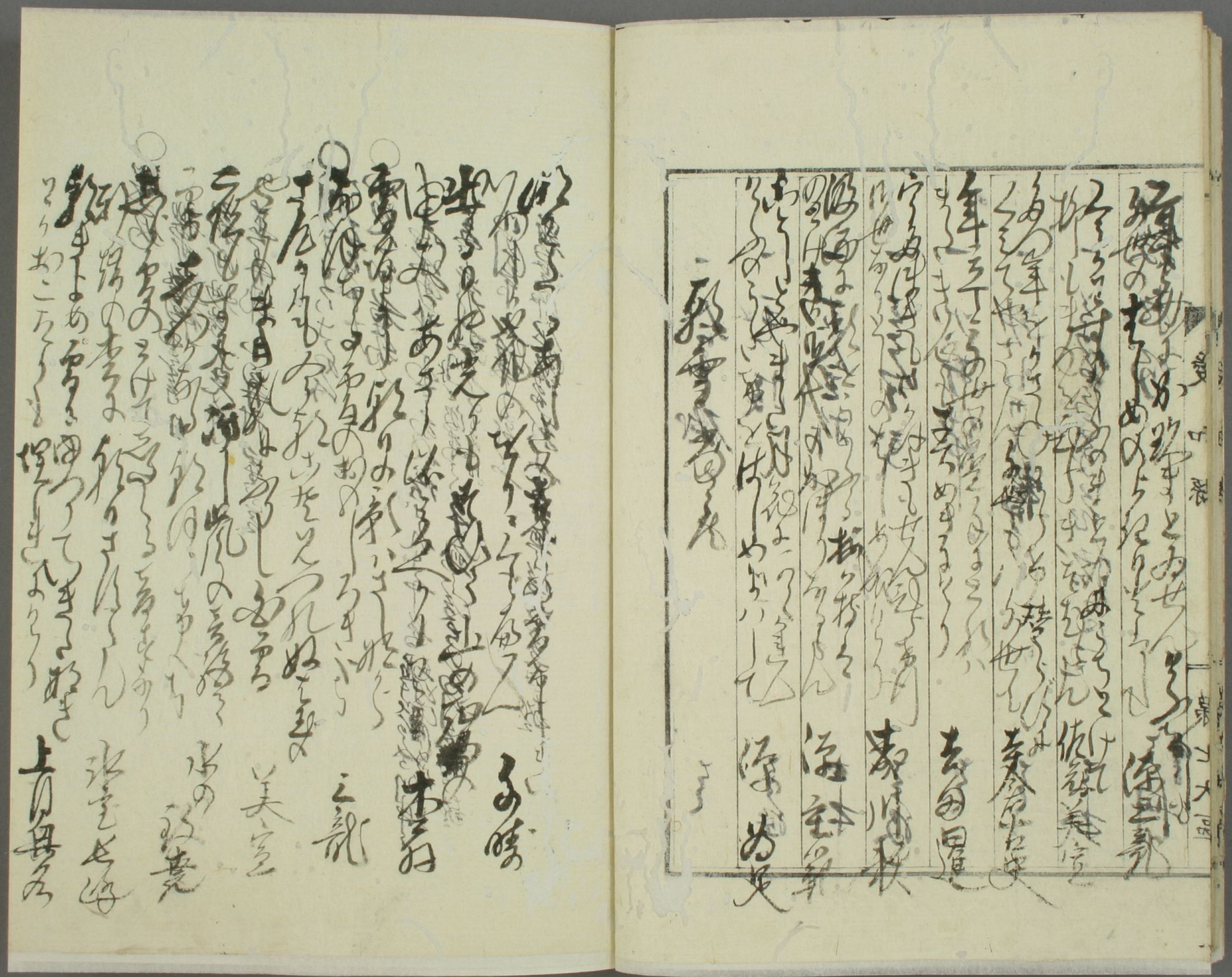
[illegible]

○

四月[illegible]一[illegible]大[illegible]

[illegible]

杜[illegible]



四月八日九日祭事
元下住庭新發天皇殿後獻額

所司　年月
牡丹　日付

入花十四一組八座三組
二戦云組已上一組
五番剪冬科　六卷

投庭園卜為大人詠
繁翠園素梅為大人花詠

而浮世秀一浮世合入仕五英薫子
自我十五氏大人筆薫子合十五座薫
七五十四閑蘭氏筆蘭子合十五座薫
仕五一桜八芳之桜四入桜桜三
四月十五日四之切
五月一日閑蘭
同月中返附

王
砂面
所

日只次仁同
ノ係ノ升牡

補助　詩君子

執司　英風　薫蘭　雪春　松菊

卷元　柳東社

三月末より名を改む

傳覽會出品目錄

任東	茂信
林	金兵衛
堀尾	茂勝
丹羽	新[illegible]
長	見[illegible]
沂	長氏
吉田	吉藏

七宝細工	高ツヾラ
小野[illegible]	高人[illegible]モヨシ
茶[illegible]	傳物ノ詳別高
交[illegible]	寄物而已ニ身ナシ
長[illegible]	昔ノ心用桑全廢物
古銅器	鑒ニ定分ハ知ル
程	猿ノ樣ナ

安藤野雁　若鐵　價ハ誠ニテモ堅シ
宇[illegible]　二[illegible]　三[illegible]無言居
江崎寛　鐵面ノ神字　錯梅子聞ニ[illegible]
鈴木重[illegible]　新言[illegible]　斎[illegible]大[illegible]
[illegible]永蔵　飛[illegible]　吹竹ハ金モ出ル
大夫重治　光[illegible]　倉[illegible]
高木銕二郎　雲[illegible]　行ヲ過
丹羽又助
大嶋[illegible]　[illegible]　[illegible]十之

[illegible]如意栗[illegible]
林谷　北右ヘ　[illegible]ソレ多ケレ
青山[illegible]　愛知錦　八方ニ売レシ
[illegible]十郎　[illegible]霜石　毒気有リ
[illegible]利真　有足虻　何ニモ化ケモノ
[illegible]　直[illegible]大方　微力ニテハ勝チ又
[illegible]　[illegible]器械　一度又遣ッテ見タイ
[illegible]右左　愛[illegible]　風ノ次右
[illegible]　博覧会[illegible]　雅俗混ニ文

松本佐吉	古書画	真偽目利
新川[illegible]五三郎	[illegible]	一[illegible]モ[illegible]
稲垣伊兵衛	[illegible]物	是セ撰ヲ斗リ
安[illegible]兵衛	[illegible]	モチケ
[illegible]	唐[illegible]	有セラナリヤラ知レズ
真田半	昭代[illegible]	古[illegible]
筆吉	大[illegible]物	[illegible]御[illegible]
三[illegible]	[illegible]	[illegible]
堀田又兵衛	明[illegible]	[illegible]
小川原弥三郎	御城雛形	細工千ヒト不用
[illegible]	[illegible]品	御大名道具
天[illegible]	五重ノ塔	金[illegible]七[illegible]
大館[illegible]	[illegible]	是ハ[illegible]七十二
竹田[illegible]	[illegible]	是[illegible]七年
長谷川[illegible]	[illegible]	[illegible]五十
[illegible]	土[illegible]	[illegible]一

○大阪金穀

第一大阪金穀　名京屋庄一ヶ月

第二同　物所屋風平

第三同　春平兵衛門邑

第四同　丹羽嘉兵衛

第五同　中島彦兵衛

第六同　海東彦兵衛邑

第七同　知多郡横須賀

第八図

第九図

第十図

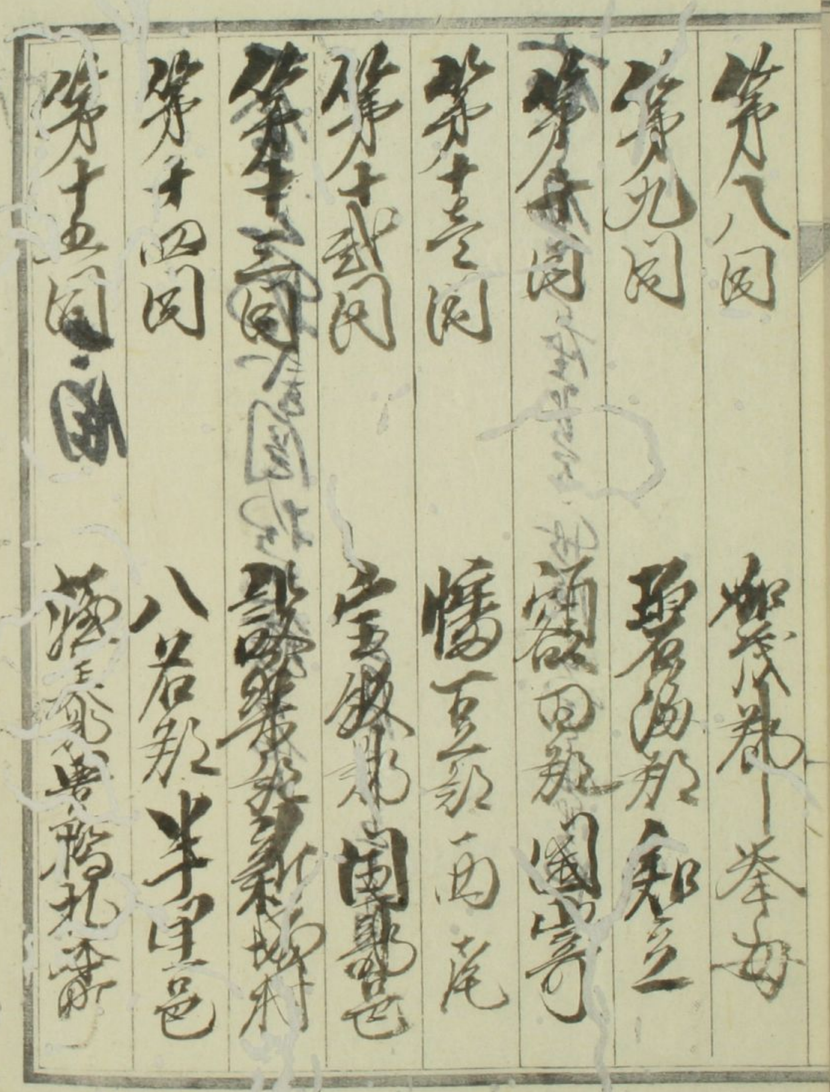
第十一図

第十二図

第十三図

第十四図

第十五図



○乙会　一村庄抽出明細表　第一図所

郡名	村名	戸数	人数	男	女	内訳
上郡	一大西丸小道羽鹿	小七二戸	四百七十人	百七十人	百人	内訳
同	下	同	同	百人	百人	内訳
同	大道寺五井郡	同	同	百人	百人	内訳
同	上小田井村	同	同	百人	百人	内訳
同	大西長五郎郡	同	同	百人	百人	内訳
同	大道寺五井郡	同	同	百人	百人	内訳
同	大草村次郎右衛門	小七二戸	四百七十人	百七十人	百人	内訳

第二図所

窮盜之部											
全	再犯	全	全	初犯	全	職	窮盜初犯	全	全	全	全

第三之部

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第四之部

霜盛三犯
仝　初犯
霜盛再犯
仝　初犯
仝
仝
仝　三犯
悦夜

第五番所
第六番所

賭博第八番
仝　初犯
仝
窃盗再犯
仝　初犯
仝　三犯
仝　初犯
仝　三犯

第七番所

窃盗再犯	第六大区[illegible]海岸通[illegible]	村上[illegible]六
仝 初犯	[illegible]二女	[illegible]
二月中[illegible]		
窃盗再犯	第一大区八小区[illegible]町	[illegible]
仝 初犯	仝	[illegible]
仝	第一大区九小区[illegible]町	[illegible]
仝	仝 村[illegible]町	川[illegible]
仝	仝 二小区 千歳町[illegible]	[illegible]
仝	[illegible]	松[illegible]
仝	第一大区十一小区[illegible]	[illegible]

[illegible]犯	[illegible]八小区[illegible]海岸通	中村[illegible]
[illegible]	第一大区[illegible]新[illegible]町	杉山[illegible]
[illegible]	仝 千歳町	[illegible]
仝	仝	[illegible]
仝	仝	[illegible]
[illegible]	仝 五小区大[illegible]町	[illegible]
[illegible]	仝 [illegible]町	[illegible]
窃盗初犯	仝 [illegible]小区八百屋町	[illegible]
[illegible]	仝 五小区[illegible]町	[illegible]
仝	仝	[illegible]八[illegible]

賣	全	高橋新助
全	全	川澄[illegible]
霜月初九	全 八小區[illegible]所	加藤[illegible]
賣買價[illegible]	全 九小區[illegible]所	東藤[illegible]
全	全 仲[illegible]所	加藤松[illegible]
全	全 下仲[illegible]所	石黒[illegible]
全	全	平下藤吉
全	全	仲藤[illegible]
全	全	加藤[illegible]
全	全	飯沼[illegible]
全	全	村上[illegible]

賣買

全	全 仲[illegible]所	岩瀬[illegible]
全	全 仲[illegible]所	中[illegible]
全	全 下仲[illegible]所	田川[illegible]
全	全	寄川[illegible]
全	全	仲藤[illegible]
全	全	田[illegible]支
全	全	藤田[illegible]
全	全 四小區[illegible]所	杉邑[illegible]
全	全 六小區[illegible]所	[illegible]
全	全 四小區[illegible]所	大東[illegible]

仝七小匿入ル下
仝四小匿ヲ西ノ方
仝四小匿中屋ヲ南ノ方
仝
仝一大匿四小匿中屋ヲ
仝大匿
仝
仝六大匿海ヲ南ノ方
仝寓壬
仝
仝

[illegible]
大矢きもと
水地ヲ西
久保田ノ東
くろ
[illegible]
[illegible]
水地ヲ東
まうの
くろ

仏諸説

世ニ新説仏諸ナルモノ芭蕉翁及後ノモノハ皆浮薄ニ流レ宗匠ト称セシモ皆一時若ク貴ノ徒ニシテ其吟詠ハ所ノモノ多ク古人ノ風格ニシテ穏良蒼古ノ二義ニ及ハサル勿論大抵皆俳諧ニ甚シキニ至テハ「てにをは」かへ知ラサルモノ有リ然レトモ勝ルニ至ルニシテ財閥ノ貴ク徒言ト云ハサルヲ得ス文明ノ時ニ在テハ之ニキモノハ此舞俳ノ如キ神風俳ノ花明新ナルハ世ノ歌舞伎ノモノ久留開明ノ所産ナル無ク世ノ盛リ風雅ノ風雅

然れ共以五教の新説俗書有流の熟解を呼醒し其教の
及ぶ所、手の行住坐臥人情に悖らざるなしと雖も教の
天地間を活潑の理を發して自ら性情を整へ解脱の
上に於ては忠信孝悌勤倹慈恵の旨趣に能り人
倫の正しき人道を正しく知れる所なし有情無情を尽くす
道に於ては宵の前に古人なしと詔りし人もなり
故に教の訓育は神思霊
光を発し訓育は一流の
教訓なり一流の
教訓は人の教示を
待て後に覺悟せざるなり僕も又衆人の教示を
待て後に覺悟せざるなり

事を物に応じ大心力を以て賢愚に衆人の
なり因て学者は其心を行住坐臥に
風雅の雅俗を慶に立て明の
すべし世道人心の深く我
風雅に三教合一の
雅俗に而して神儒仏の
為に花鳥風月に其遺
ことなり笑花を安の一助にも成べき道を自得
せざる世人此の道に従事し人倫を
花鳥風月に求る所の風雅の或意を文字に

昔論語ヲ蠹スル者アリ知ヲ玉フ之ヲ是最ニ蠹ノ問フ人ニ示ス

所ノ論語ハ左手ニ握リテ同志ノ人ニ告ケントス欲スル故ニ貴社

[illegible]煙ハ新聞紙ニ写記スルモノ上度番縣新聞ヘ下

鎌倉ノ國富田ノ住山ノ原ノ深夜ニ梅花ノ何

急ノ[illegible]白心ハ[illegible]愛ニ[illegible]吟心夫慶ス[illegible]

得水ナリ

種なく見へ又穏やかなる[illegible]

都さまやの聖語の如く人生[illegible]

知者[illegible]

明徳を明らかにし 世悪人情[illegible]

[illegible]大道を知りて[illegible]世に[illegible]

[illegible]たとへ[illegible]

たつさはるの後心事にあらされは[illegible]

勤めしく光陰をおくらず萬物の長[illegible]

[illegible]一生[illegible]

しるし[illegible]道の[illegible]

さるに天道[illegible]の[illegible]

解[illegible]

[illegible]

[illegible]

神乩雑纂[illegible]花明記

唐本古銭銘乾隆庚午之冬月

欽定銭録　十六巻

五番の[illegible]国[illegible]蔵[illegible]

全[illegible]右[illegible]

[illegible]

[illegible]

教[illegible]薬園[illegible]明[illegible]十二月

今ハ昔[illegible]薩摩国[illegible]天人[illegible]

蔵[illegible]一日兵庫の花[illegible]我[illegible]

来りて

[illegible]伊勢の神風[illegible]

五[illegible]異国の船

[illegible]是非を[illegible]諸[illegible]我

[illegible]愚人[illegible]一言[illegible]止[illegible]其人

[illegible]

[illegible] 十日[illegible]

[illegible] 田浦の[illegible]

[illegible]

明治八年辛未

三等第一級和親巨艦極

遠五港濱殊貢七珠敬神

惠十分明治八年春

義兵慎謹九重天六大洲

中振聲飛頒國威寵堅永

能二京三海浴温然

失國

[illegible]記

○東京府管下寄留 第大区区長戸長

明治年二月 [illegible] 百日 [illegible] 別冊 [illegible] 御所 [illegible]

[illegible] 明治八年十一月九日 東京府知事大久保一翁

別冊 [illegible]

[illegible] 県 [illegible]

第一番 [illegible] 学 [illegible]

[illegible] 教 [illegible] 四人 [illegible]

[illegible]

明治八年十一月

[illegible]

小田原町

見番 林文左衛門

克 [illegible]

一日三席 上岸吉 [illegible] 治吉 [illegible]

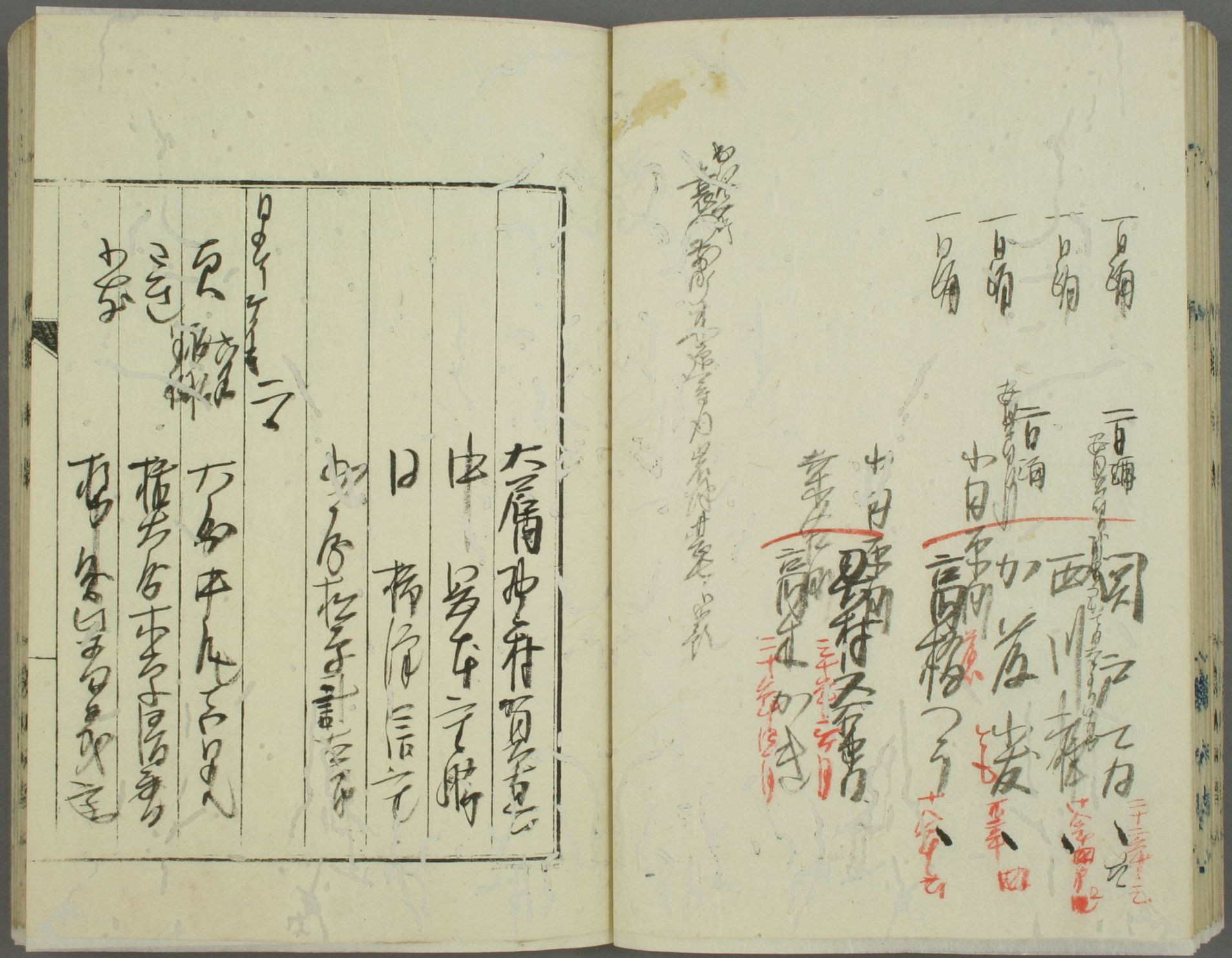
中 [illegible] 二日 [illegible] 席 [illegible]

一日稽古 [illegible]

一日二席 [illegible] 小峯竹次郎

一日稽古 [illegible] 八

[illegible]



日柳三郎

ありかたく存候

かきりなく存候

頓首拝具

年号月日

手続書

小田原町
料理茶屋業
吉村又七

本月廿日午後第七時比客七人

参り弐階座敷へ通シ小川町松浦殿ノ邸方ニ罷出

酒肴ヲ上ケ元飲致シ候処其内ニ壱人ニテ上

候ニ付キ元来ノ元飲致シニテ宿所ヲ聞候処

申候処相知レ申候ニ付見届ケ申上候

久保田ハ三百石御扶持方被召出候ニ付承知被成候様存
太田氏家中ニハ以来ヒ当家ニ而当分被成下置
候事ニ付何分ニも此方ニ而も是迄之節頭之申合候
諸藩之申合が三家ニ而迄ニ年々人ニ而も相勤
節頭之申合々此方共々可然被仰付候ニ而も十分
御存之品も近年ニ而も十上り候様被成候ニ付候
三中旬ニ而御旨ニ而十五日
其之御達ニ而二十三日

路次書

名古屋小田原町
升屋金兵衛百石奉公人
奥村又右衛門
三拾年三十四日

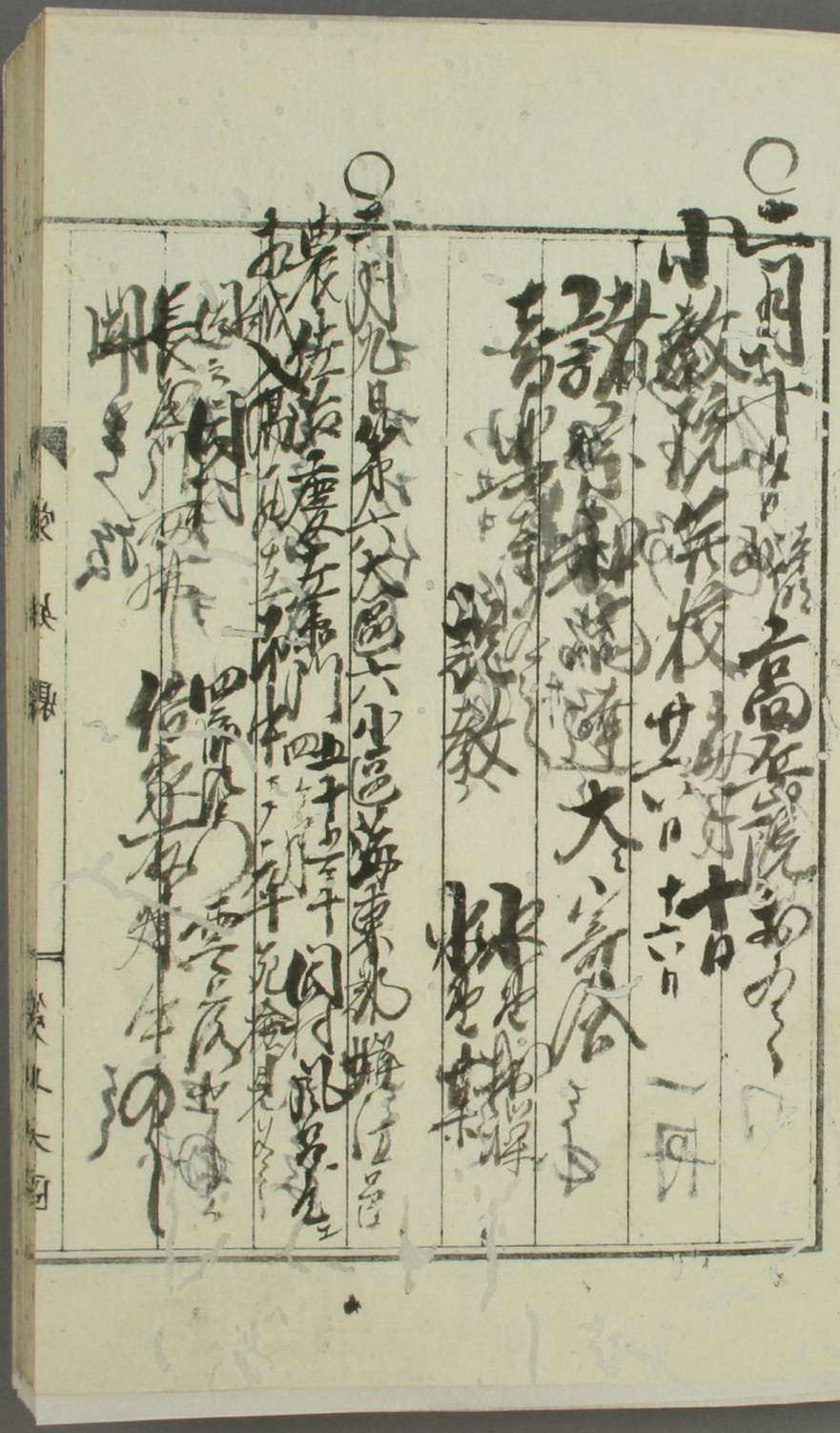
本年二月十七日午後第六時ニ名古屋
御県庁之官員大川殿ゟ三名招ニ付
旅宿ニ而御酒宴之上益々御懇意被下候
中村
金拾丹半金数日之出町福松ゟ十五両

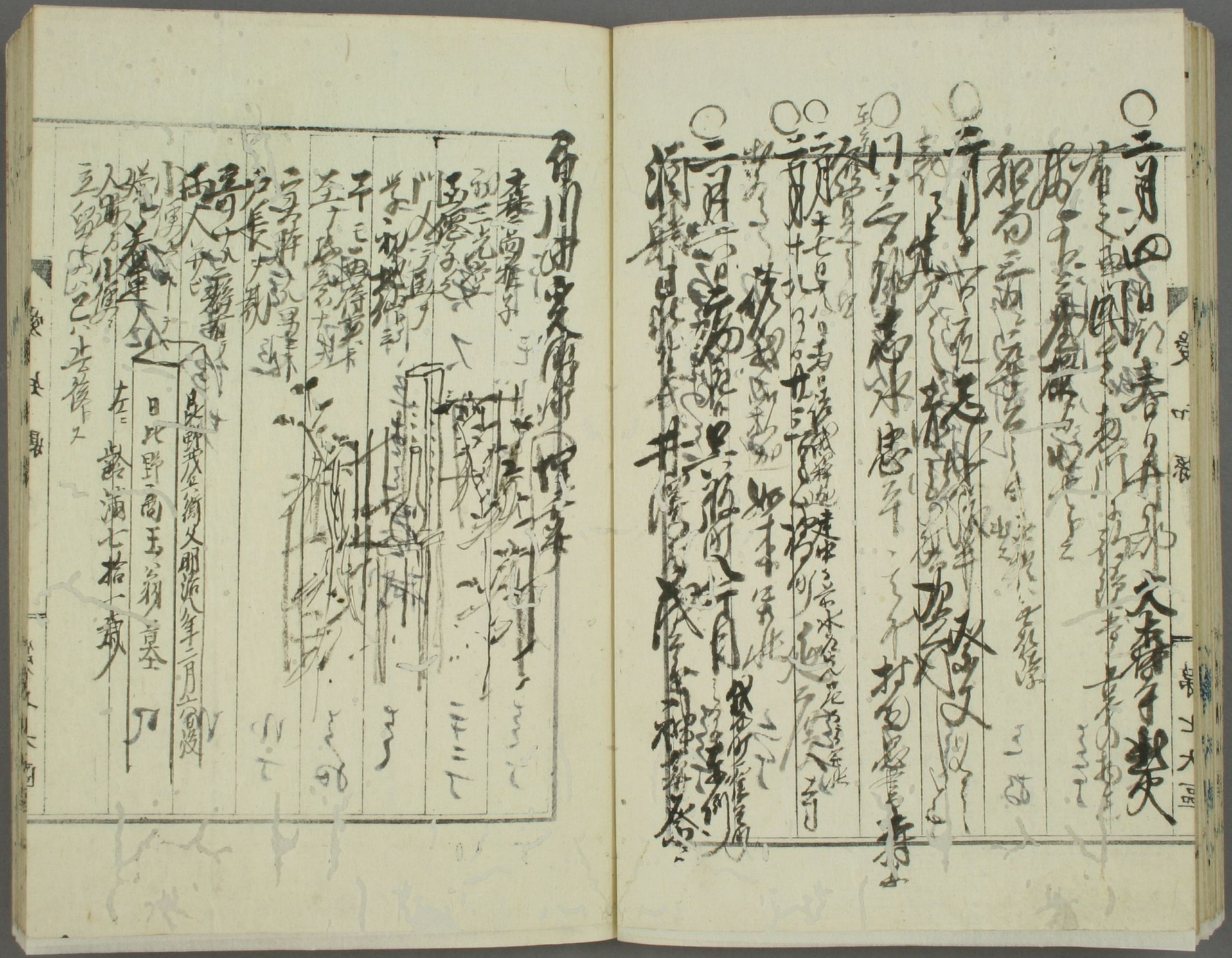
[illegible]

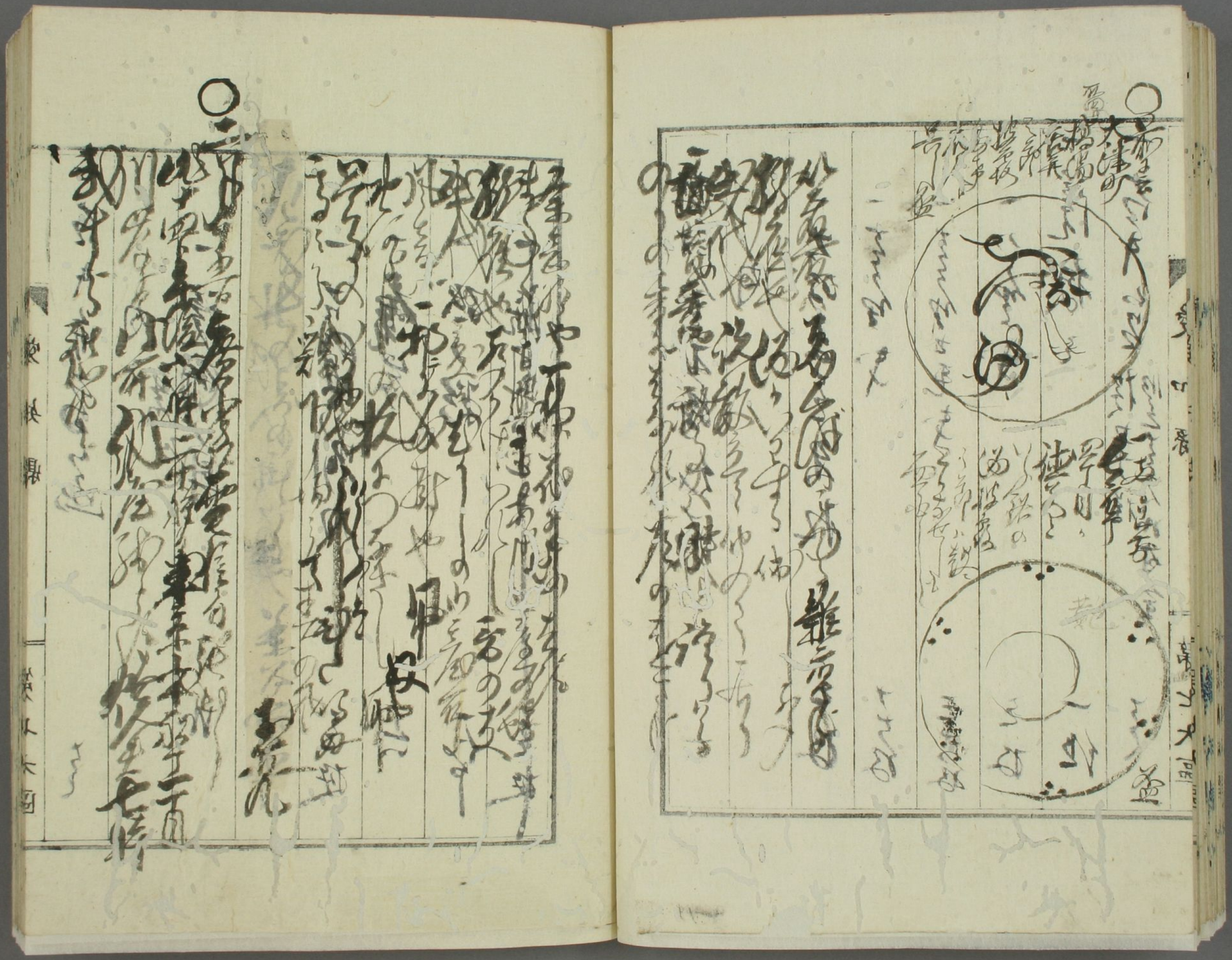
[illegible]

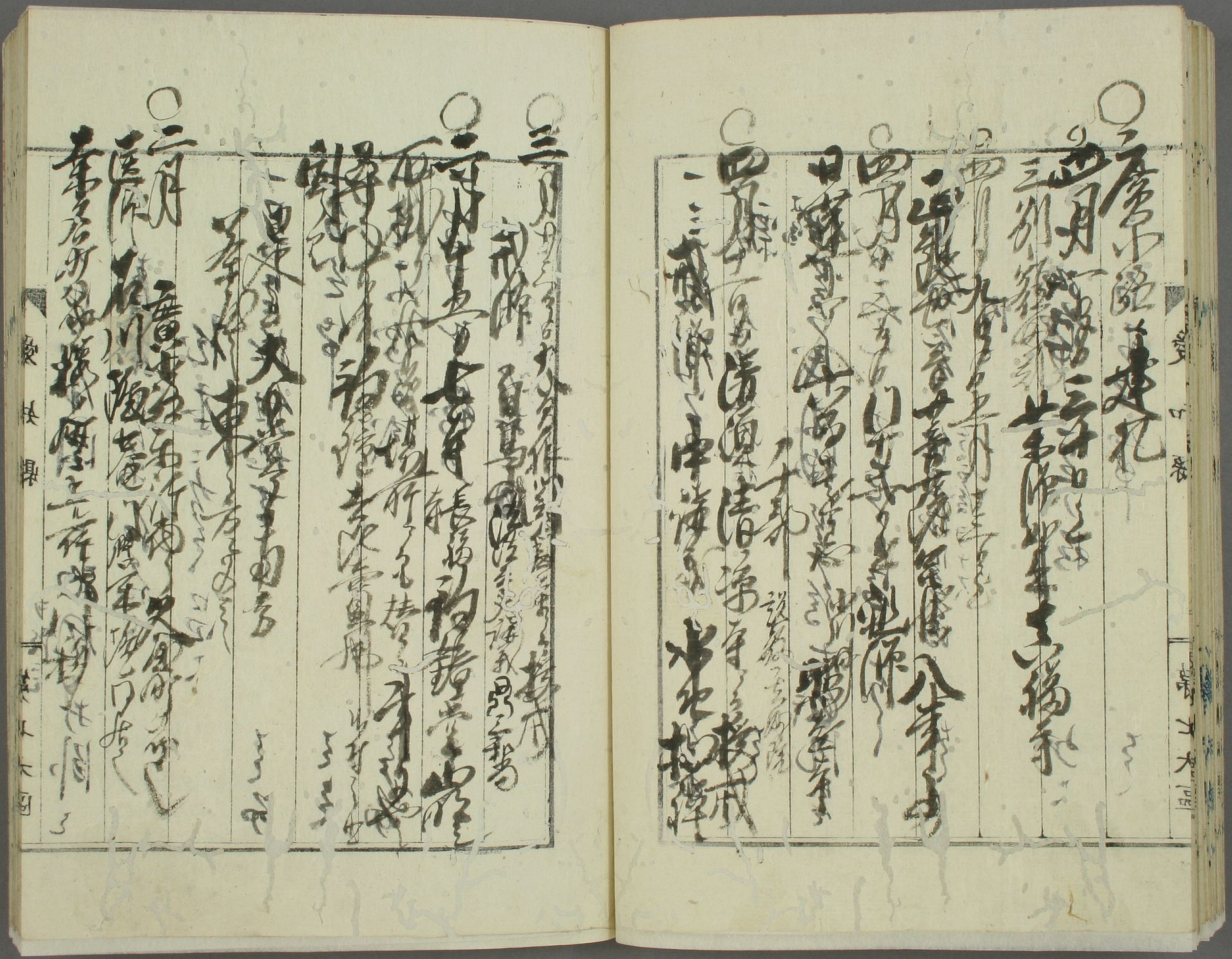
[illegible]

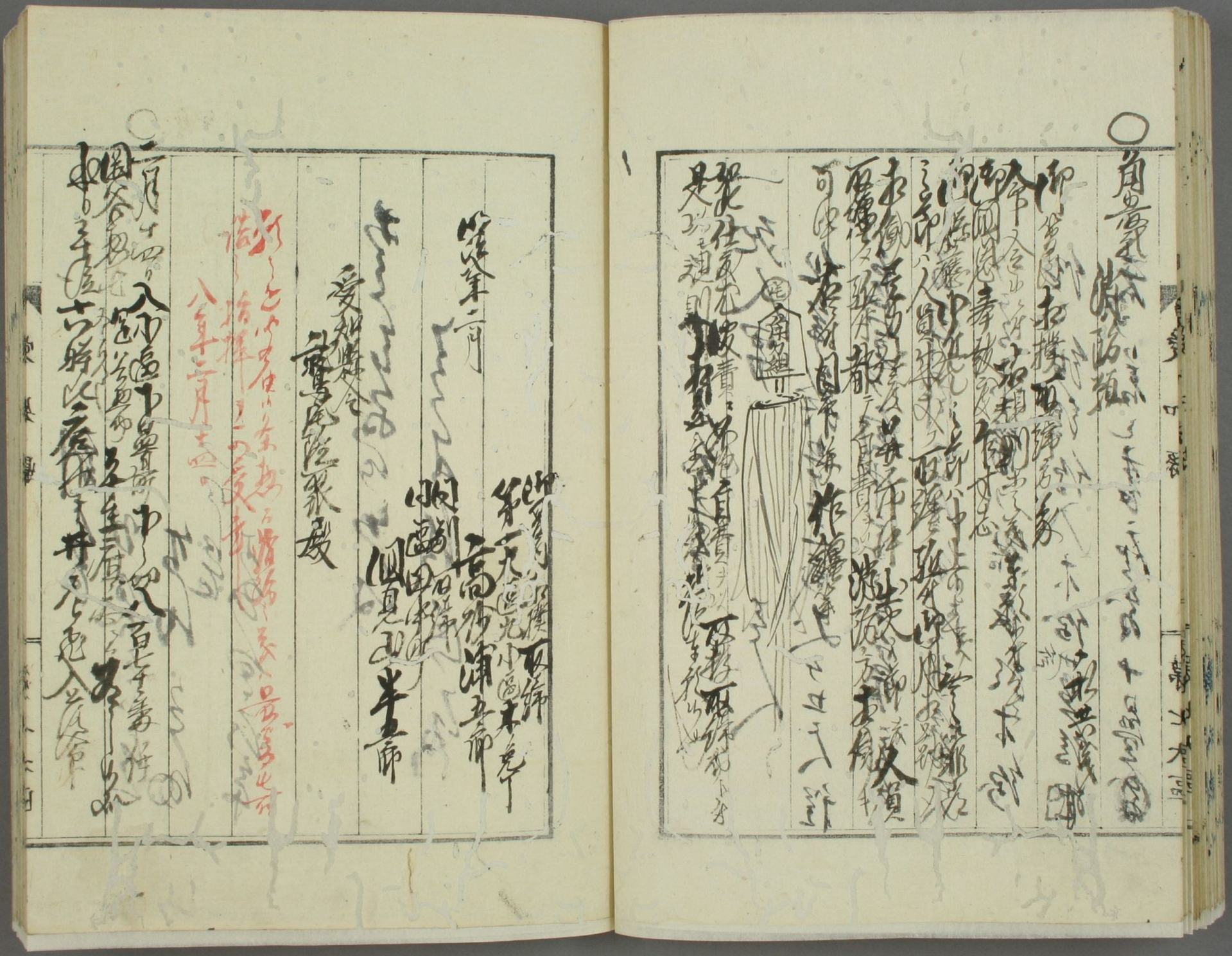
本殿令饒尾隆五殿



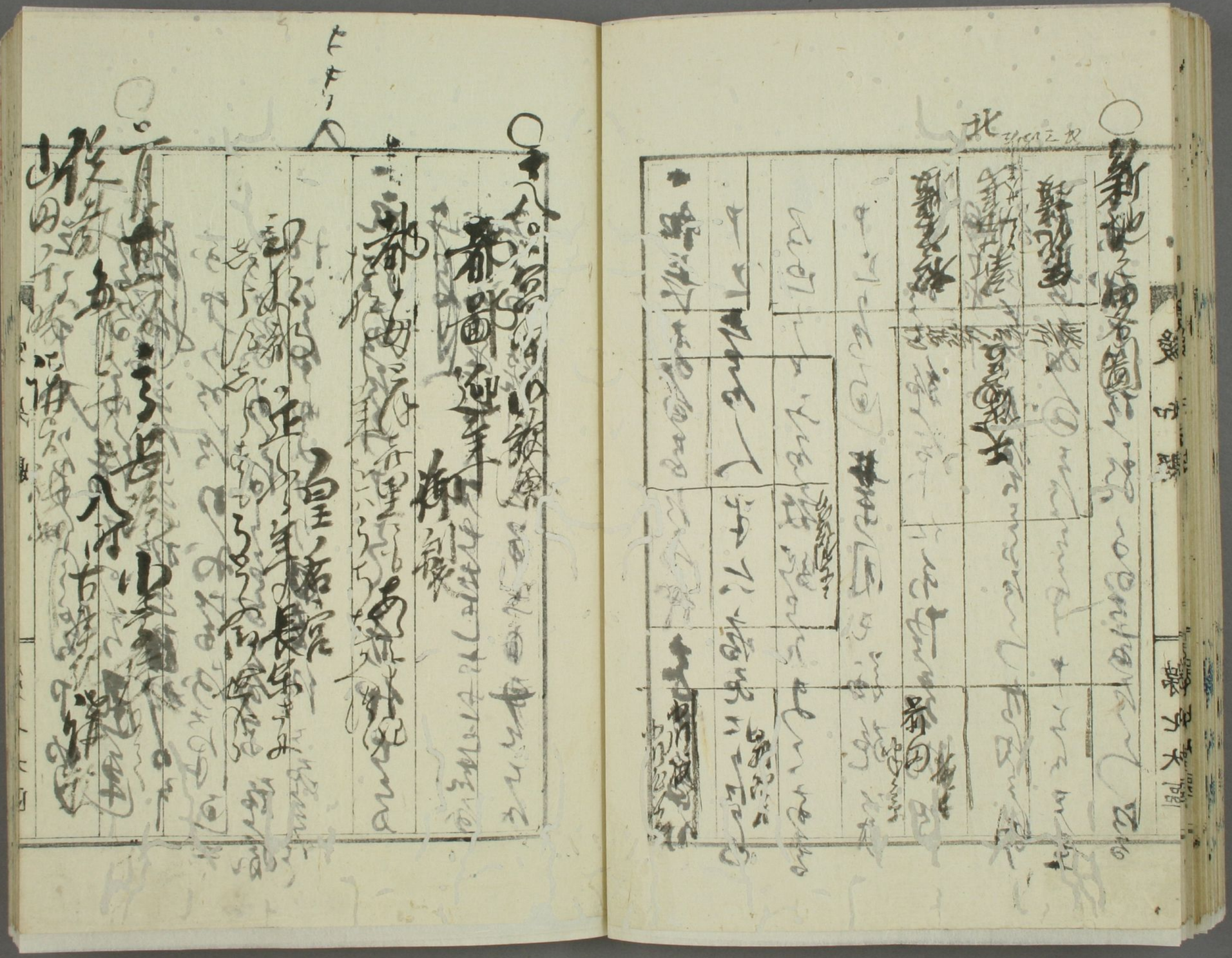








北



○三月廿日晴　天　袖書

○東京毋要書

○記錄係權大書記

權訓導園生大平

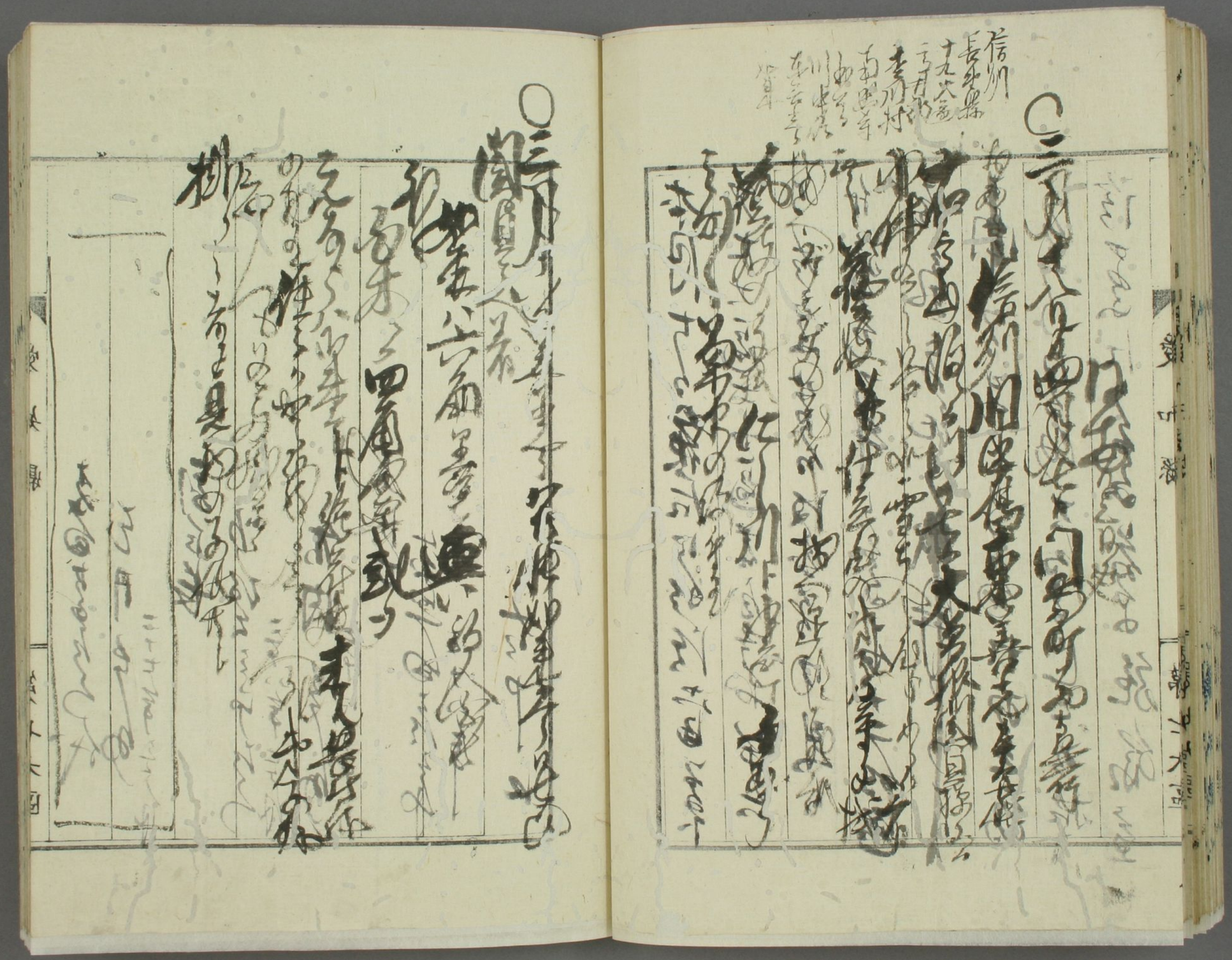
○三月十一日晴　天

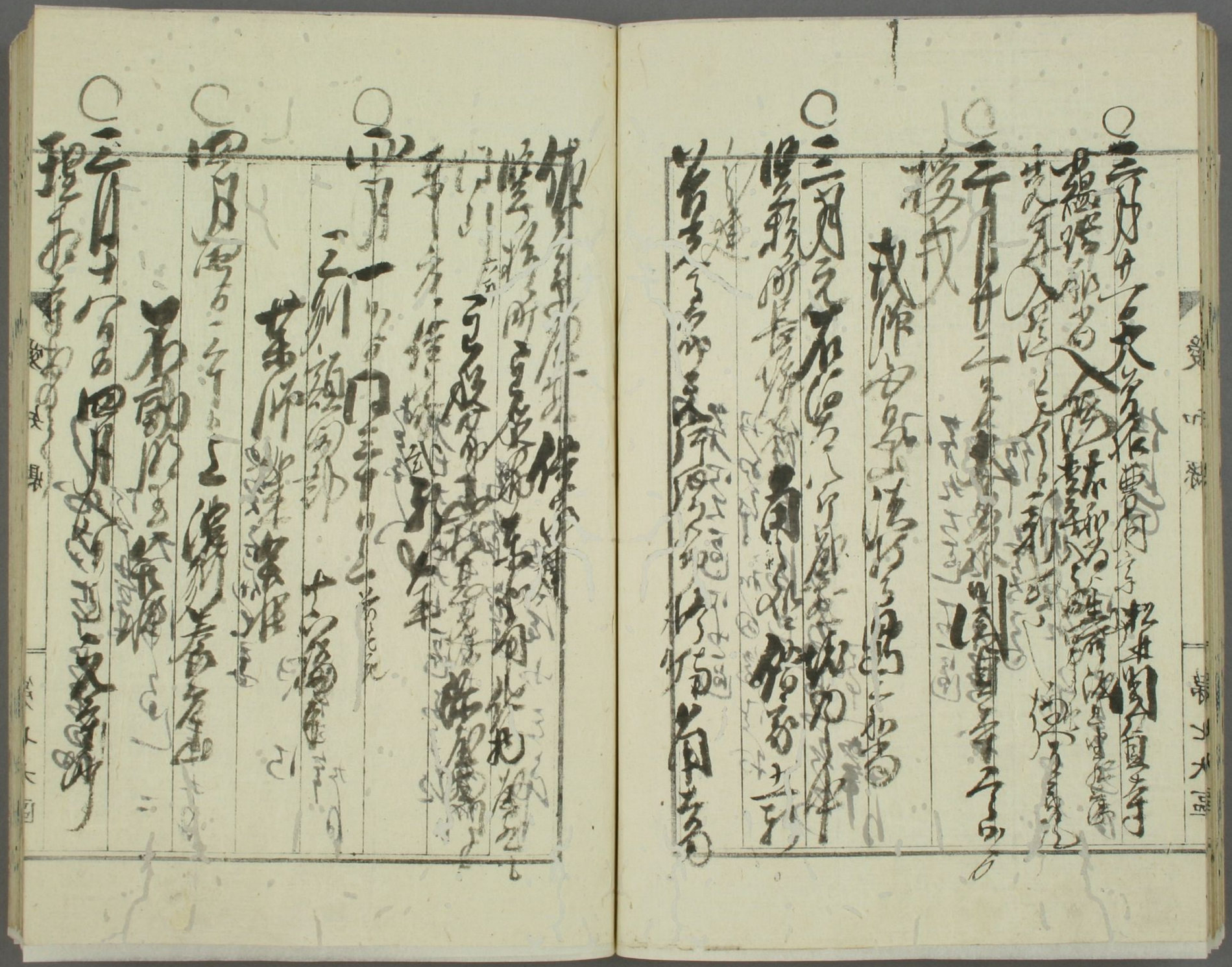
○八幡宮

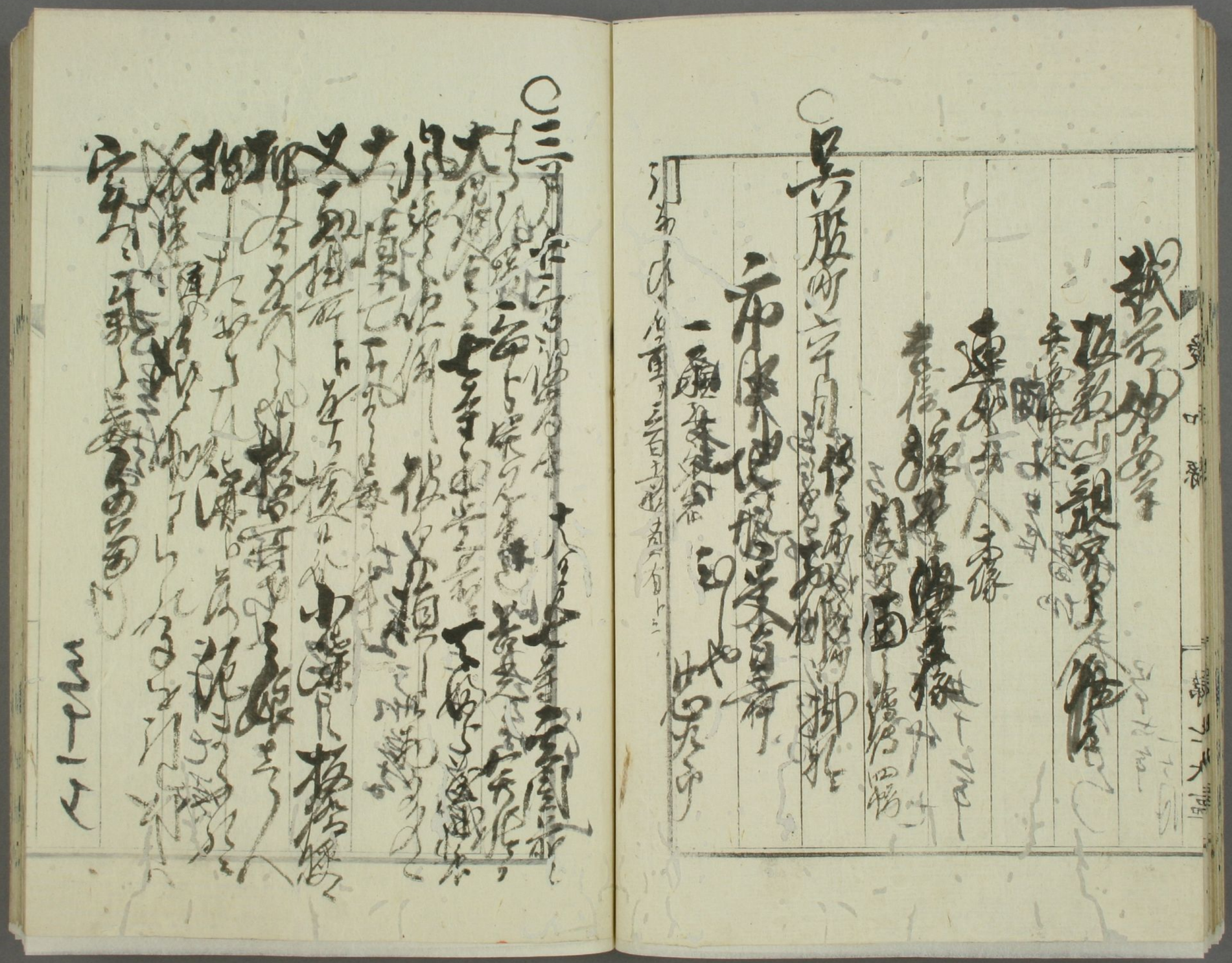
○雪

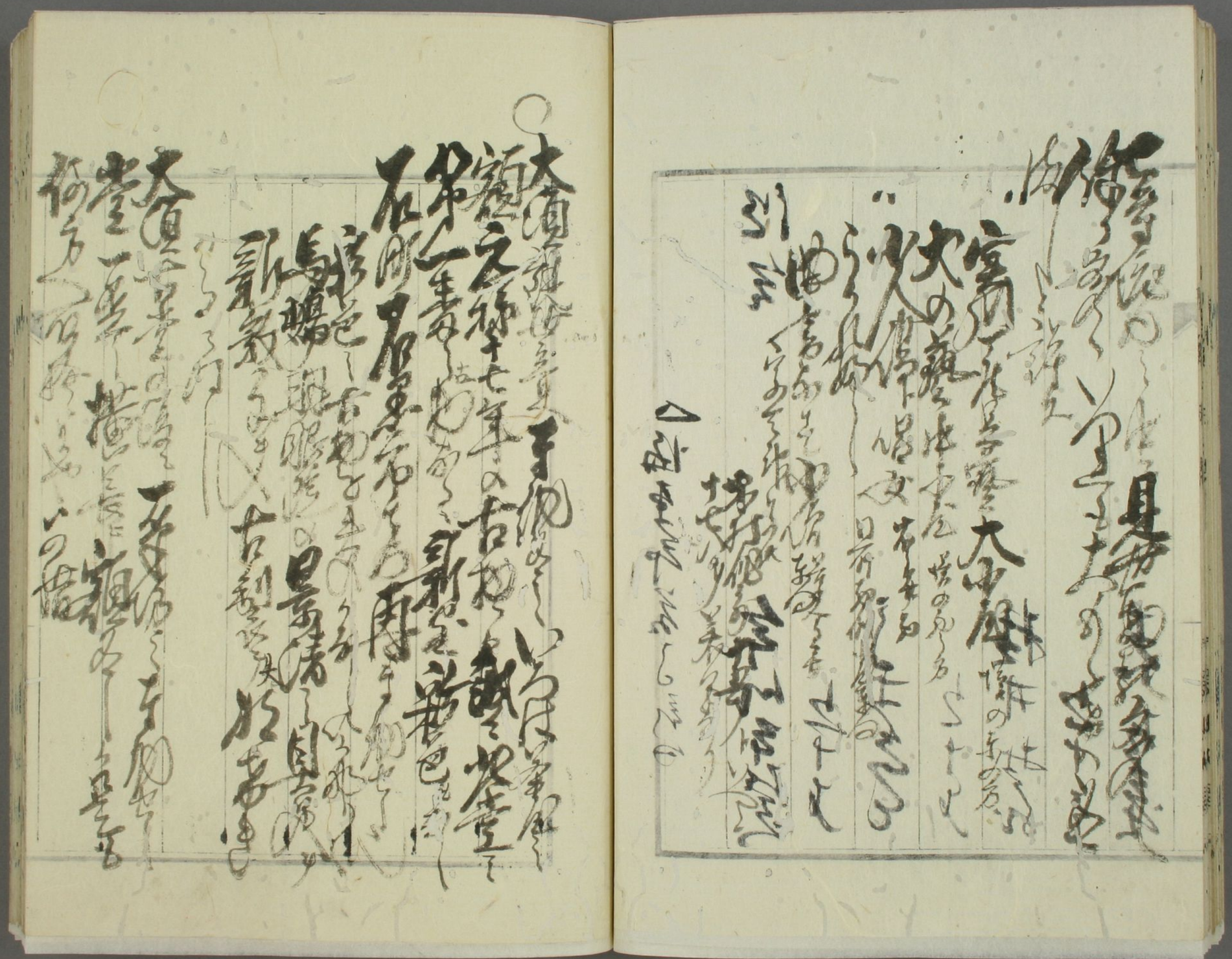
○神社

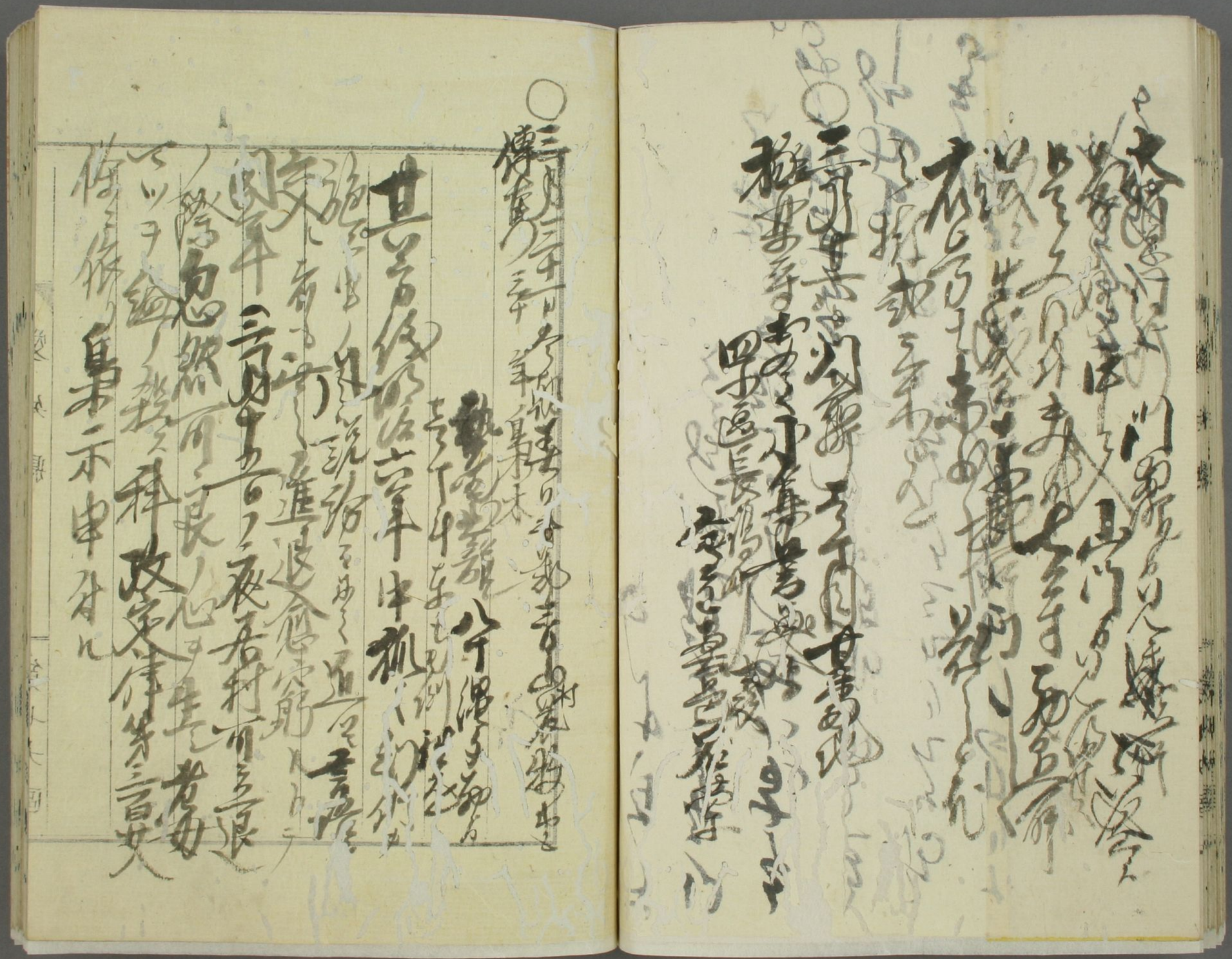
○教員

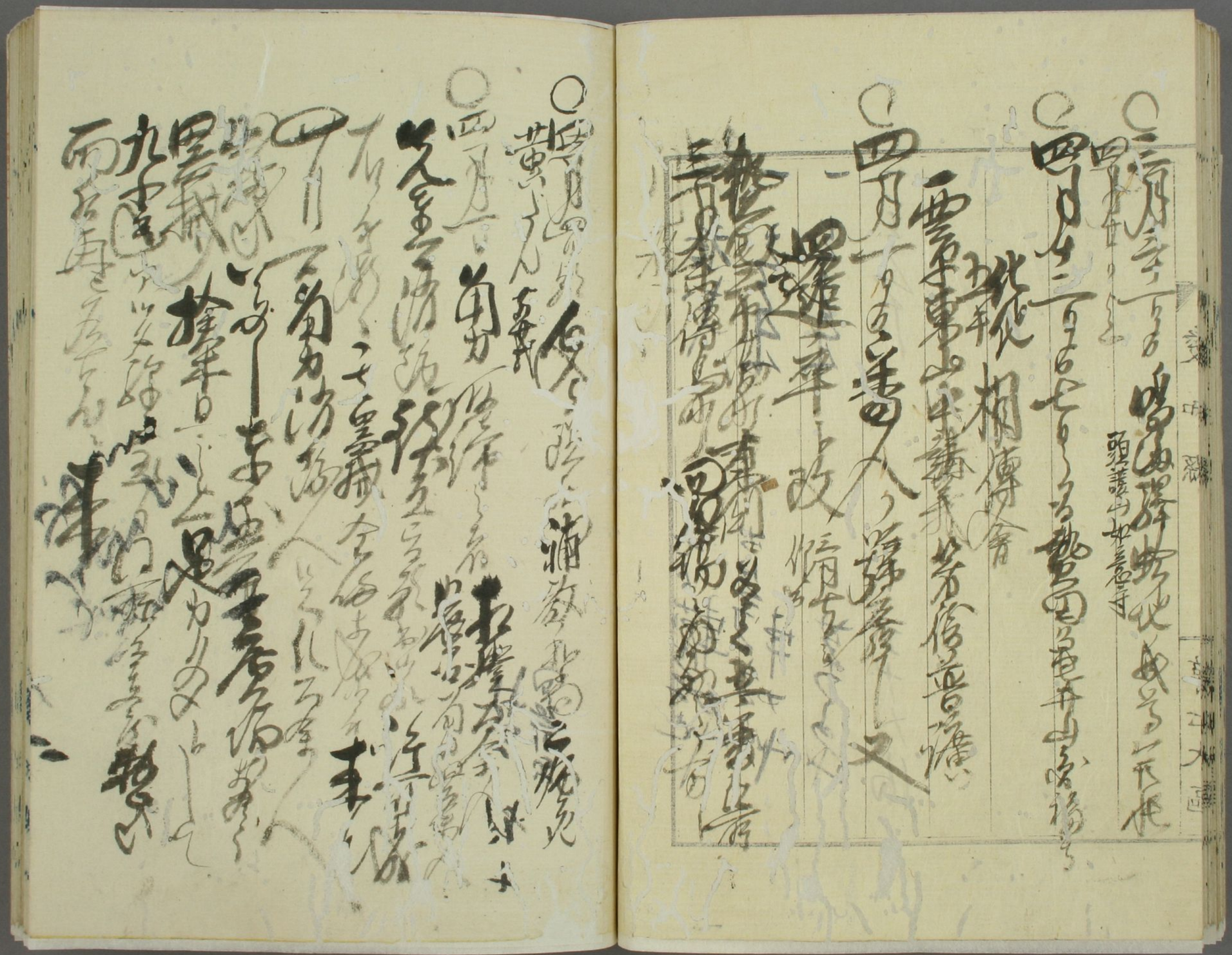


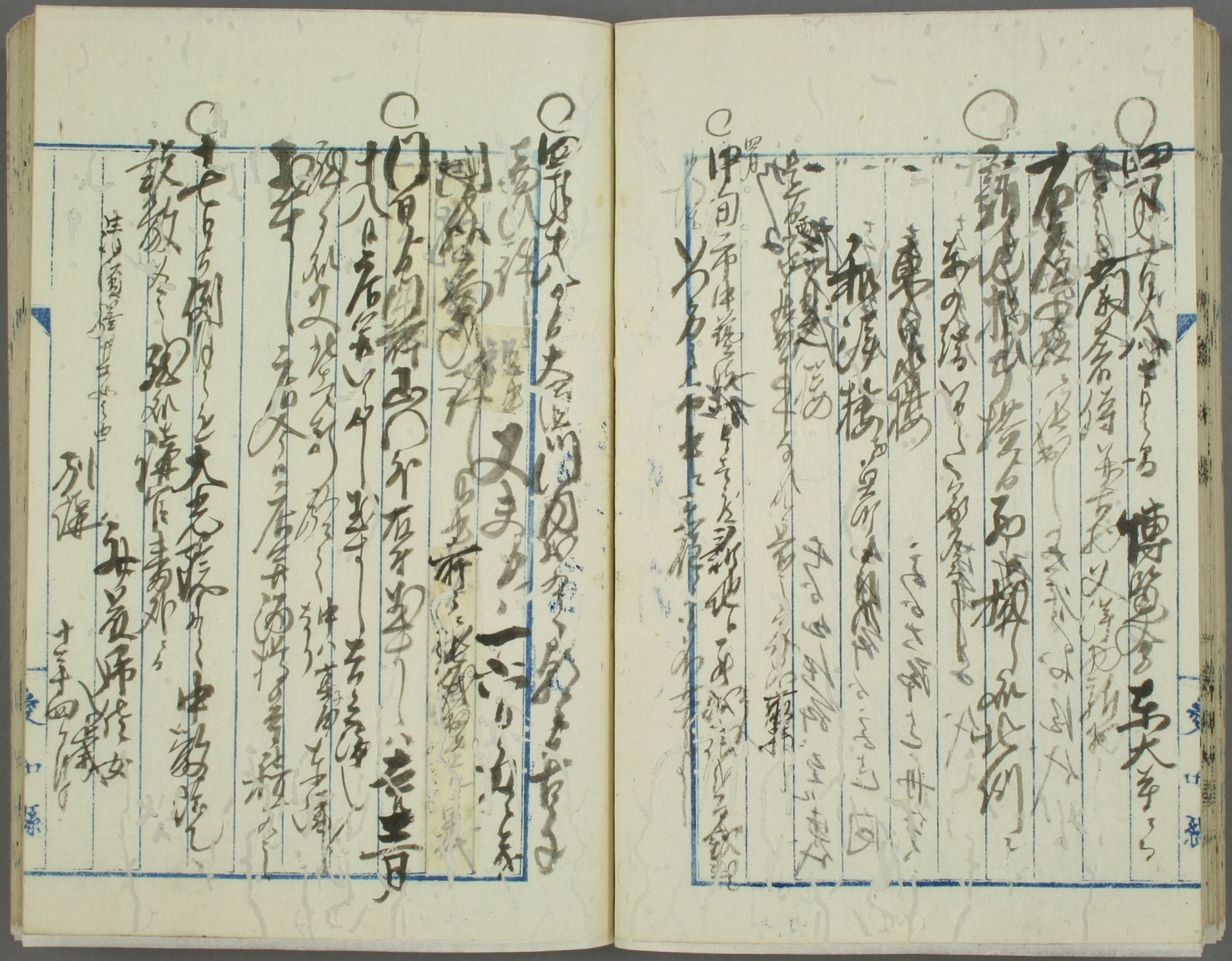








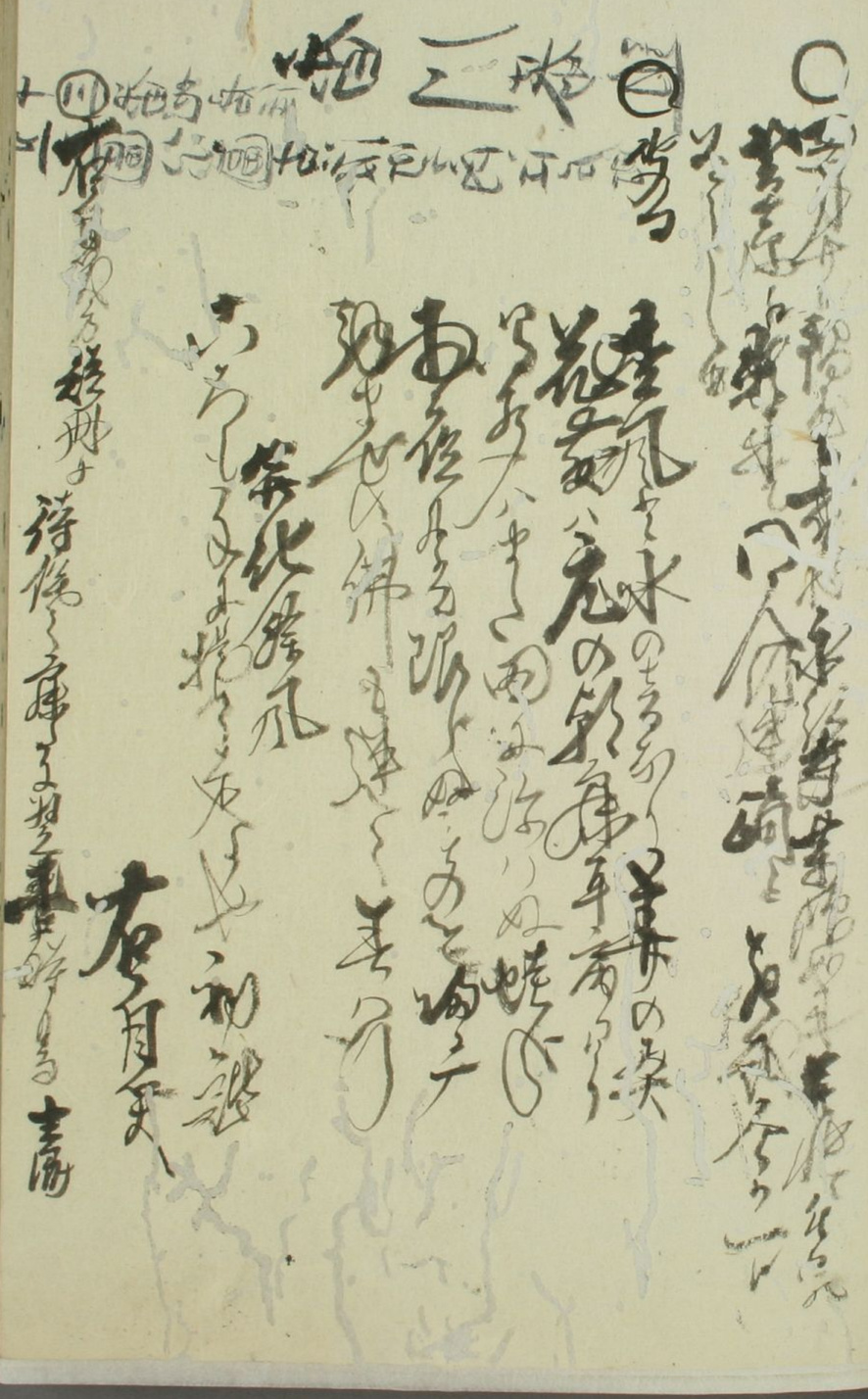


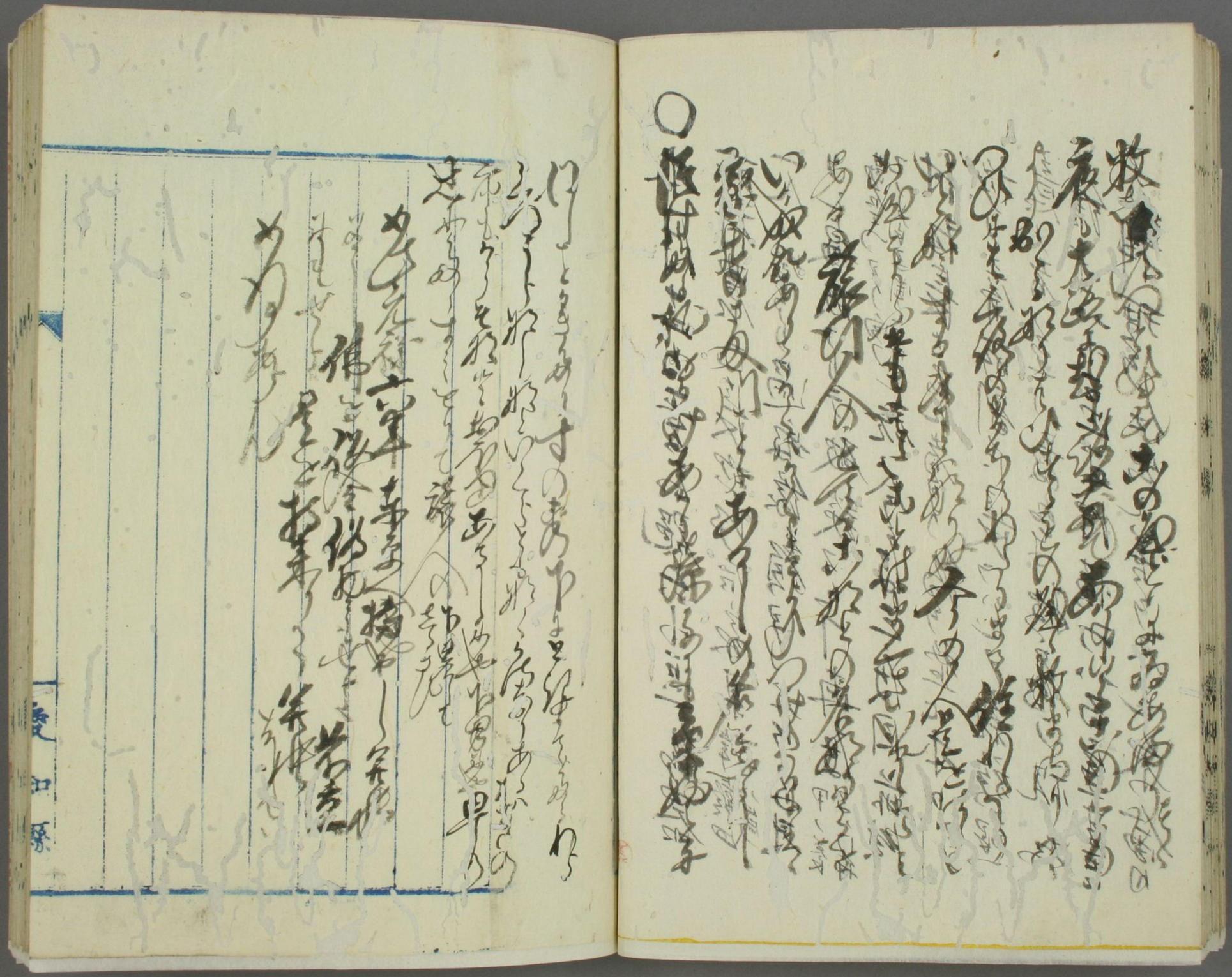


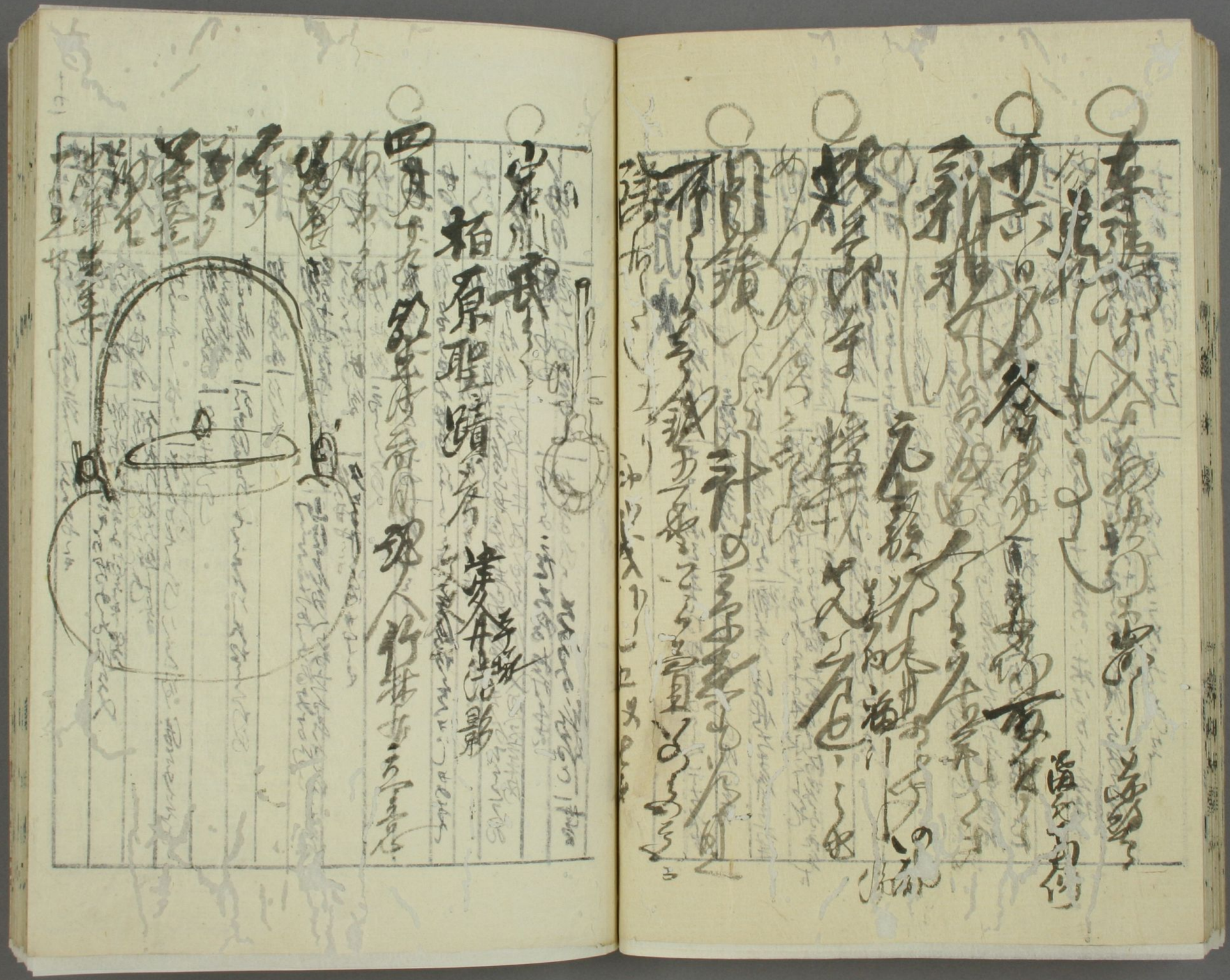
十七日 晴

春日

九日同







八王子
五男

二女

○神社考 [illegible]

宗像一作胸肩一

宰佐

嚴島一作伊都岐島

日本紀天照大神素戔嗚尊十握剣打折為
三段灌於天真名井噛絶噛而吹棄之霧
霧所生神号曰田心姫次湍津姫次市杵島姫凡
三女矣此三女神居是宮也兒候授之素戔嗚尊
即欲崇胸肩君等所祭神是也
筑紫宗像明神田心姫

日本藩王

豊前宗像郡

宗像大社

宗像郡上

増山の井

宗像大社

宗像郡

入口藩

宗像郡

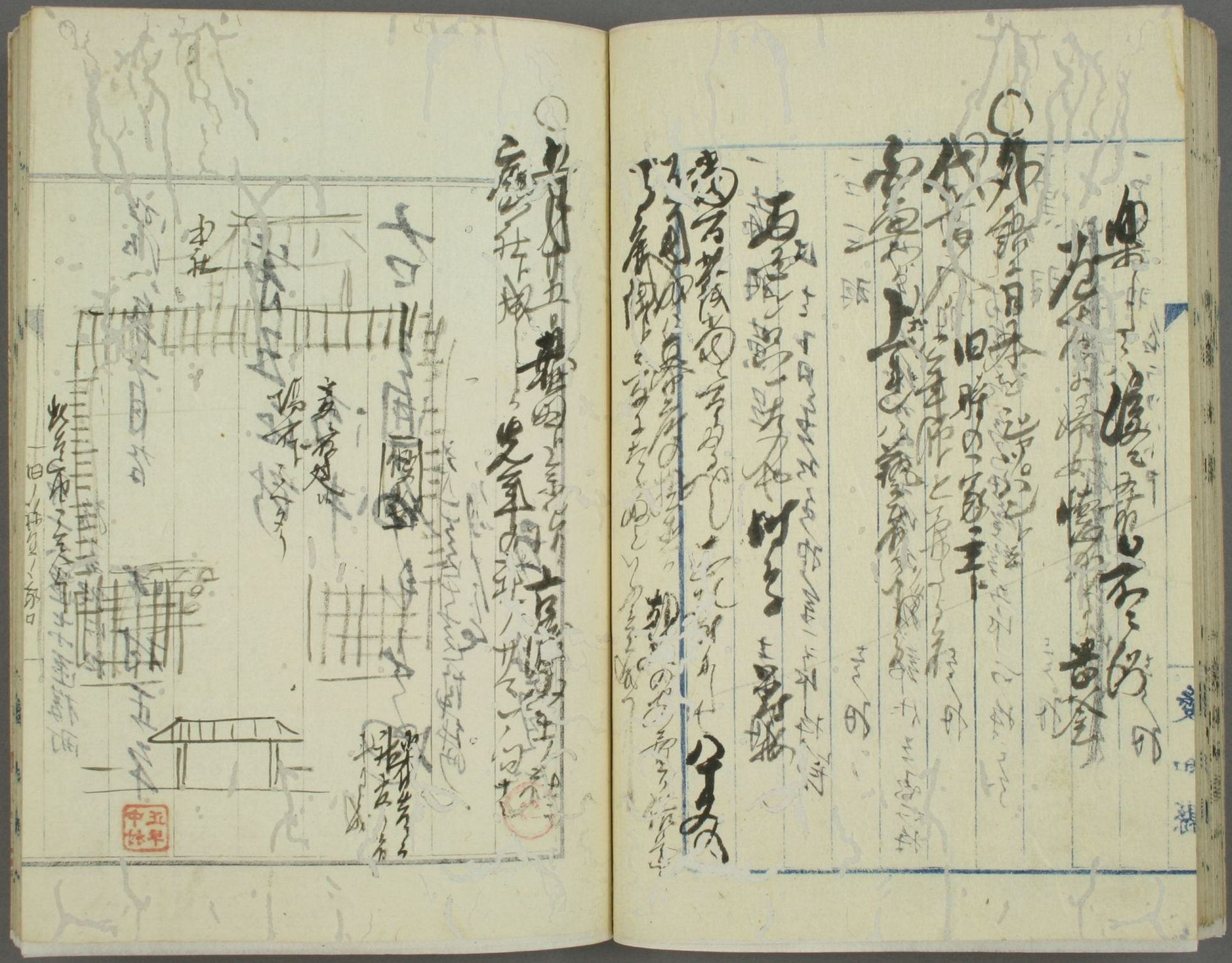
宗像郡

宗像郡

教義の一端

梅の香や

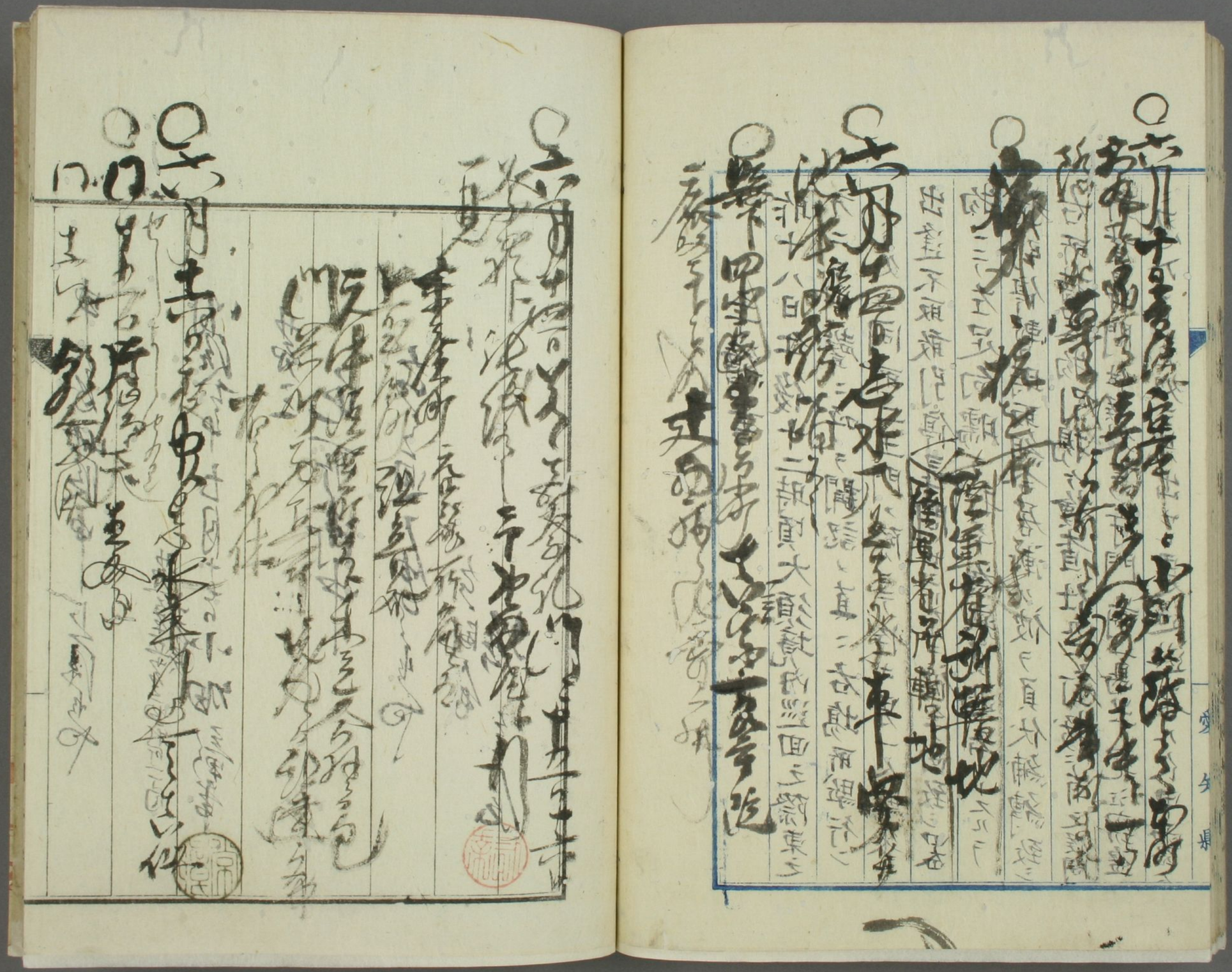
教訓　村上湖岸

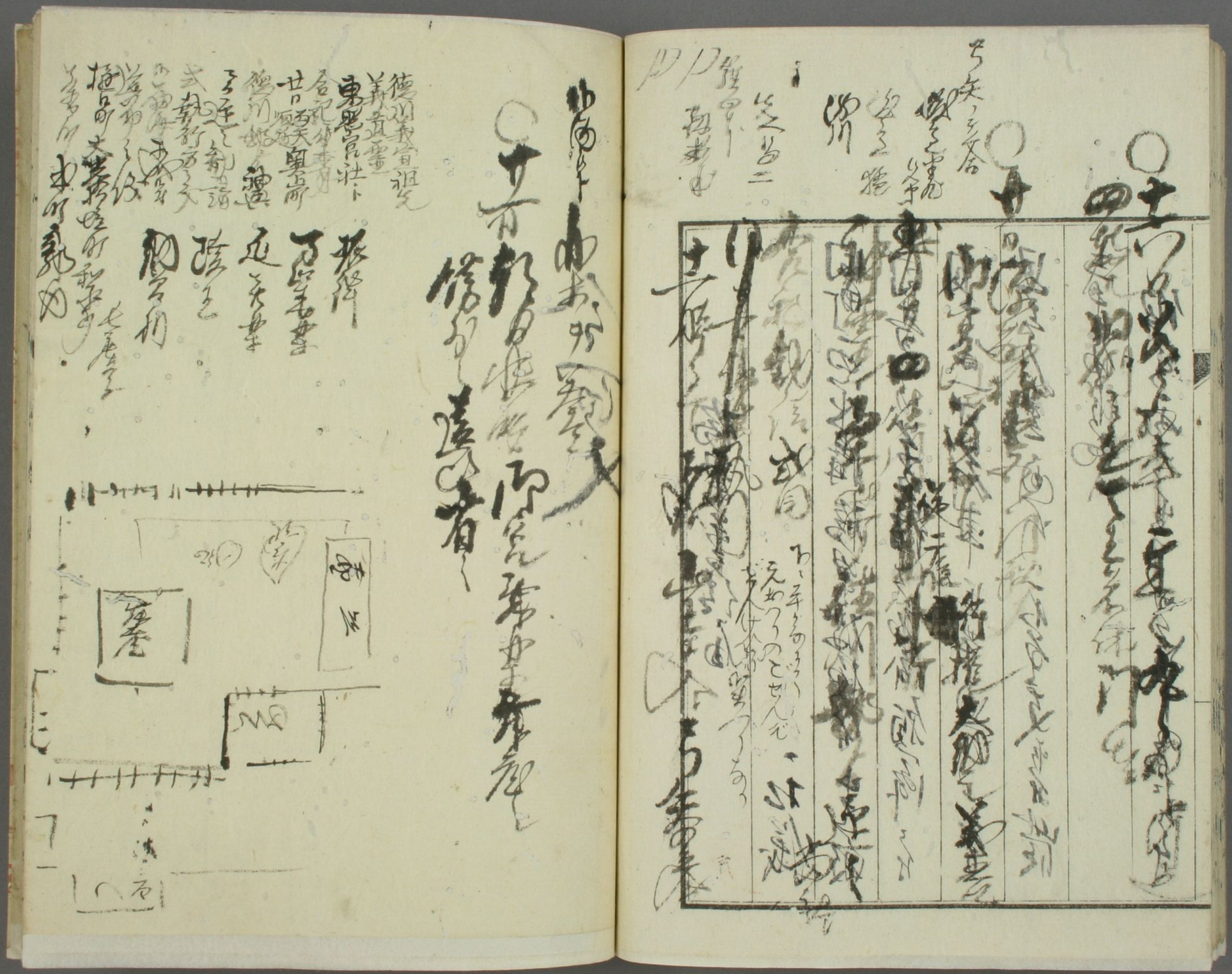


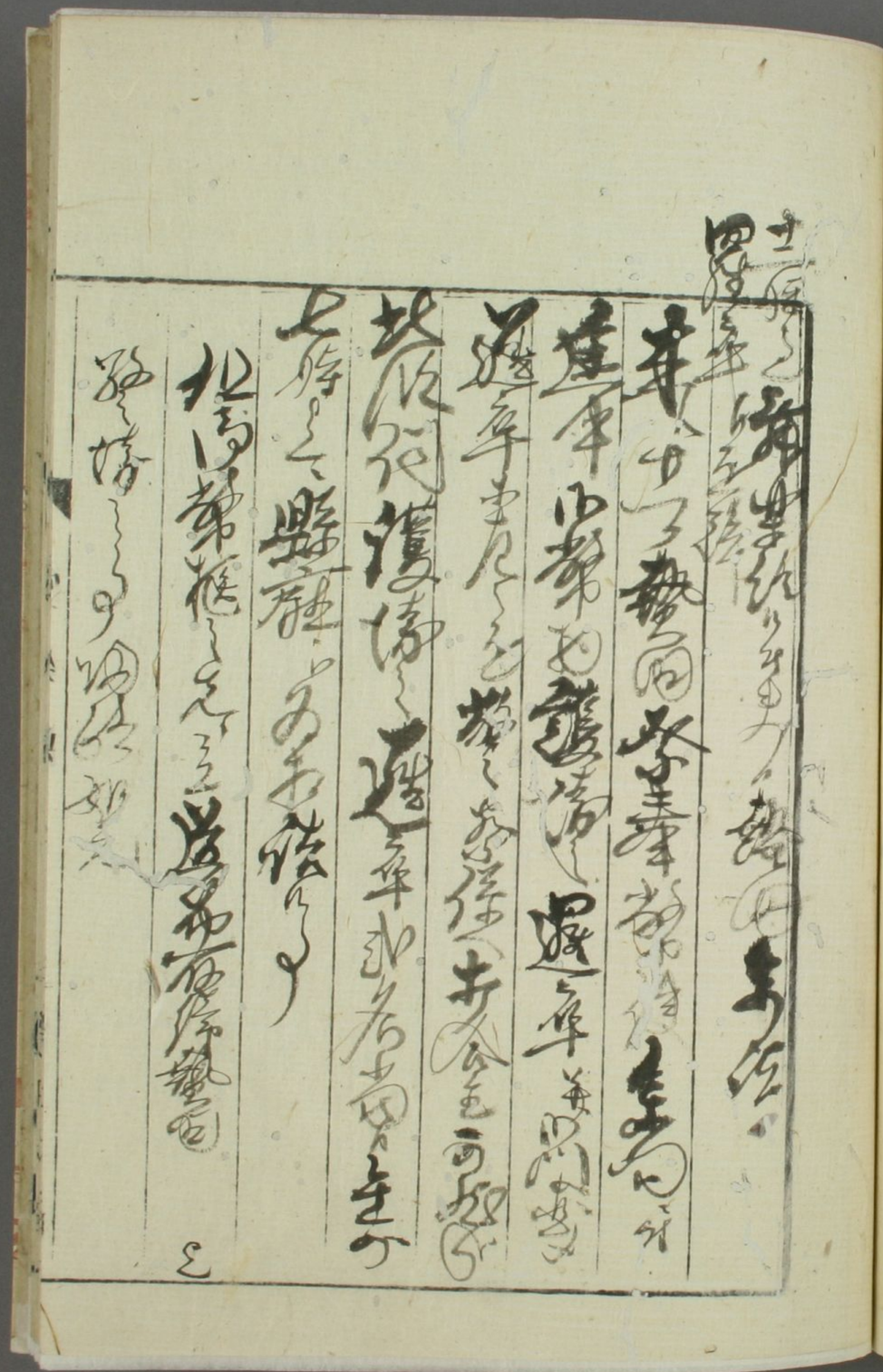
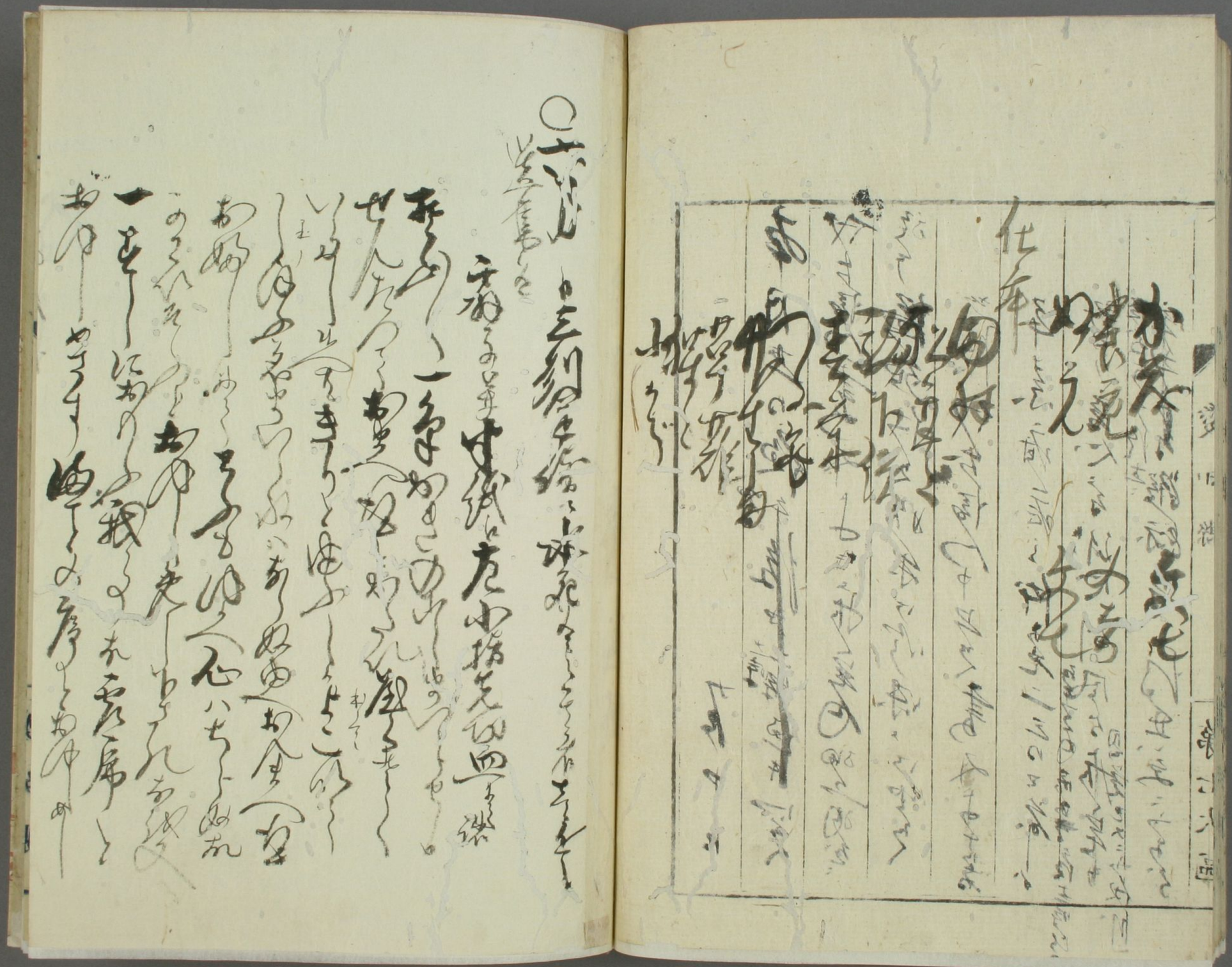
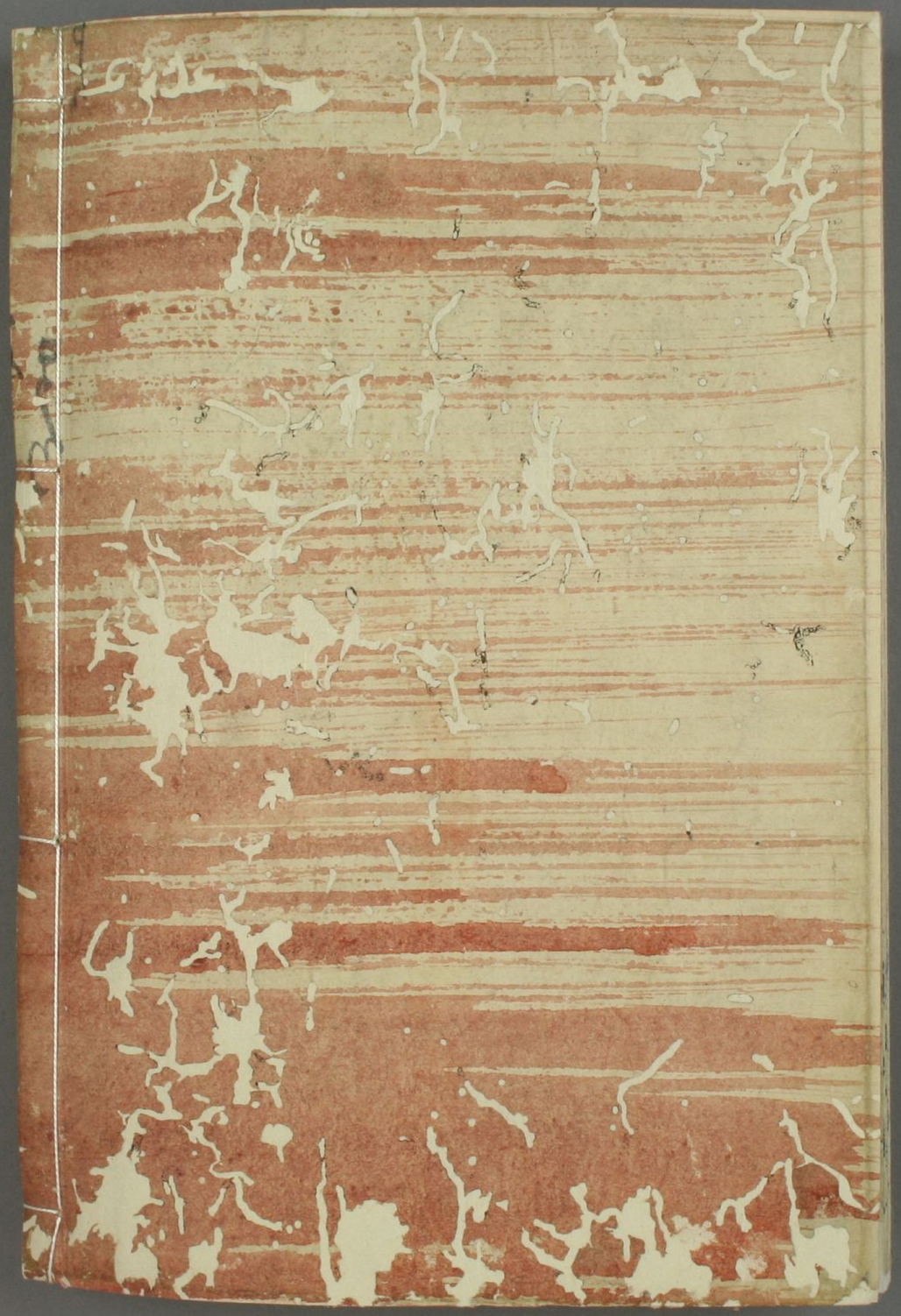
中教院建築

七宗教義試験仮規

南
北







印氣論草